

令和 2 年度みえ森と緑の県民税基金事業（資料編）

目 次

- ① みえ森と緑の県民税基金積立金事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 - 1
- ② 災害に強い森林づくり推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 - 3
 - ア. 災害緩衝林整備事業
 - イ. 土砂・流木緊急除去事業
- ③ 森林情報基盤整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 - 37
- ④ 森を育む人づくり推進事業
 - ア. 森を育む人づくりサポート体制整備事業・・・・・・・・ 1 - 44
 - イ. 森林環境教育・木育拠点整備事業・・・・・・・・ 1 - 55
 - ウ. 森林とふれあう自然公園環境整備事業・・・・・・・・ 1 - 58
- ⑤ 生物多様性推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 - 66
- ⑥ みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業・・・・・・・・ 1 - 69
- ⑦ みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業・・・・・・・・ 2 - 1
 - ア. 流域防災機能強化対策事業
 - イ. 森林再生力強化対策事業
- ⑧ みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業・・・・・・・・ 2 - 17
 - ア. 災害からライフラインを守る事前伐採事業【新規】
- ⑨ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業・・・・・・・・ 2 - 24
- ⑩ みえ森と緑の県民税制度運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 - 1

令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業の構成

積立総額【決算額 1,122,266,015円】（予算額 1,097,538,000円）

① みえ森と緑の県民税基金積立金事業【決算額 1,122,266,015円】（予算額1,097,538,000円）

取崩総額【決算額 1,056,936,791円】（予算額 1,111,382,000円）

② 災害に強い森林づくり推進事業費【決算額 377,047,747円】（予算額 380,000,000円）

ア. 災害緩衝林整備事業【決算額 322,759,621円】（予算額 319,993,000円）

イ. 土砂・流木緊急除去事業【決算額 54,288,126円】（予算額 60,007,000円）

③ 森林情報基盤整備事業【決算額 68,623,000円】（予算額 90,243,000円）

④ 森を育む人づくり推進事業費【決算額 84,352,983円】（予算額 95,823,000円）

ア. 森を育む人づくりサポート体制整備事業【決算額 31,018,777円】（予算額34,233,000円）

イ. 森林環境教育・木育拠点整備事業【決算額 47,130,396円】（予算額 48,334,000円）

ウ. 森林とふれあう自然公園環境整備事業【決算額 6,203,810円】（予算額13,256,000円）

⑤ 生物多様性推進事業【決算額 3,305,812円】（予算額 3,996,000円）

⑥ みえ子ども森林・林業がミ自然体験事業【決算額 2,977,745円】（予算額3,570,000円）

⑦ みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業

【決算額 147,898,859円】（予算額161,599,000円）

ア. 流域防災機能強化対策事業【決算額 133,303,784円】（予算額 125,799,000円）

イ. 森林再生力強化対策事業【決算額 14,595,075円】（予算額 35,800,000円）

⑧ みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業【決算額8,923,086円】（予算額10,000,000円）

⑨ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

【決算額 356,151,000円】（予算額 356,151,000円）

⑩ みえ森と緑の県民税制度運営事業【決算額 7,656,559円】（予算額 10,000,000円）

※二重線の囲みの単位で、「令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業・事業別評価シート」を作成しています。

災害に強い森林づくり推進事業

三重県農林水産部治山林道課

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、県が流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩和する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

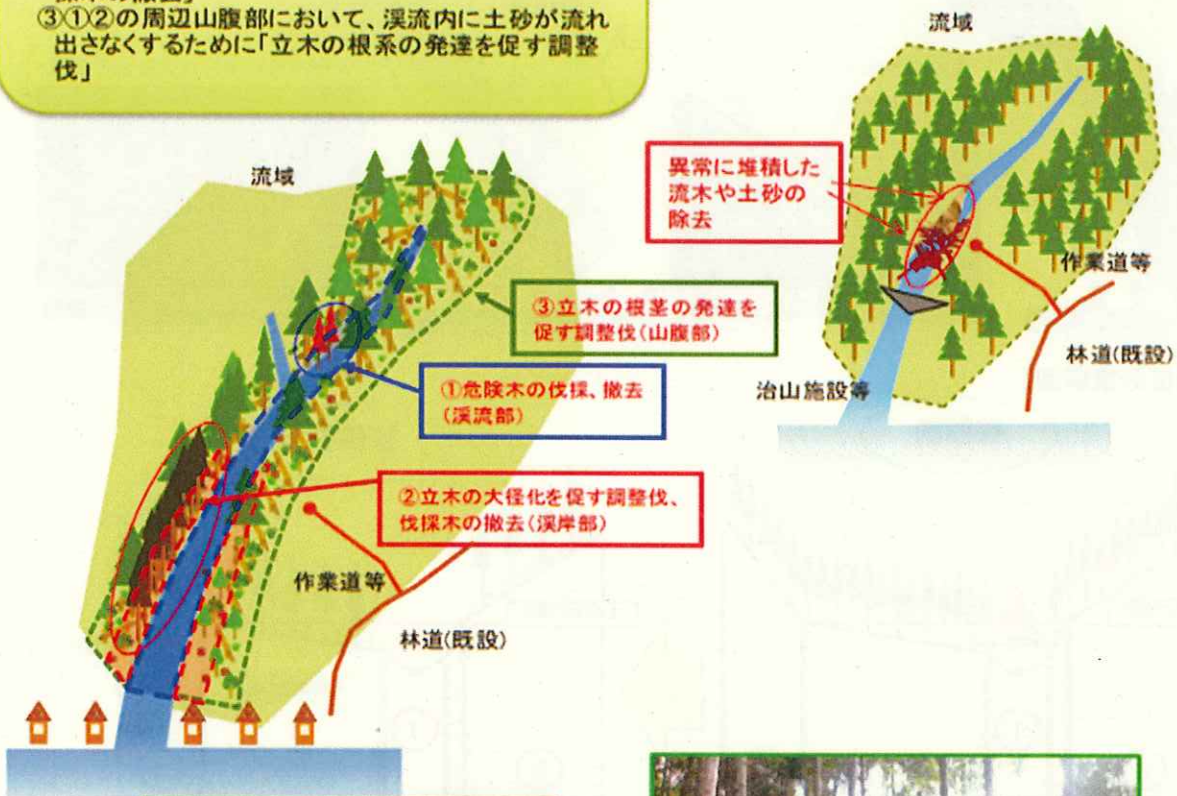
また、豪雨時に流下して下流に被害を与えるおそれのある治山施設等に異常に堆積した流木や土砂等について、除去を行います。

I 災害緩衝林整備事業

- ① 溪流部において、流木になる恐れのある危険木を下流へ流れ出さなくするために「危険木の伐採、撤去」
- ② ①の周辺溪岸部において、上流からの土砂の流下を緩和するために「立木の大径化を促す調整伐、伐採木の撤去」
- ③ ①②の周辺山腹部において、溪流内に土砂が流れ出さなくするために「立木の根茎の発達を促す調整伐」

II 土砂・流木緊急除去事業

豪雨等によって流出し人家等に被害を与える恐れのある「異常に堆積した流木や土砂等の除去」



整備前の森林状況



整備後の森林状況(紀宝町内)

災害緩衝林整備事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

<整備前の森林の状態>

流出する恐れのある危険木が存在

間伐不足で過密小径な林分

下層植生がみられず表土が流出



<整備区分 青字：立地環境 赤字：整備内容>

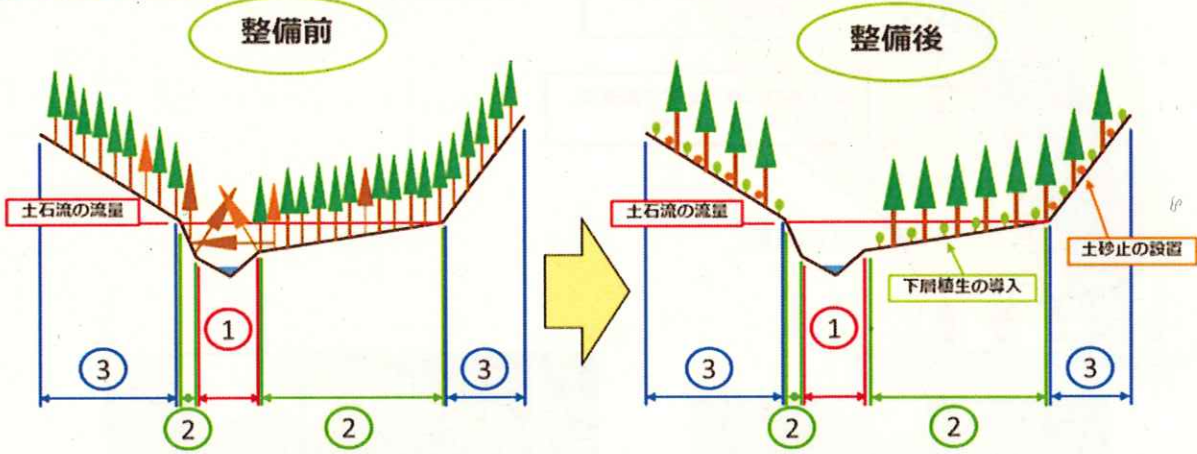
①溪流部で危険木の除去⇒流木発生抑制

②溪岸部で調整伐による立木の大径化促進⇒森林の抵抗力の増加⇒流木・土砂等流下緩衝

③山腹部で調整伐による根系の発達促進、土砂止の設置⇒斜面の安定化⇒流木・土砂等流出抑制



【整備区分横断面図】

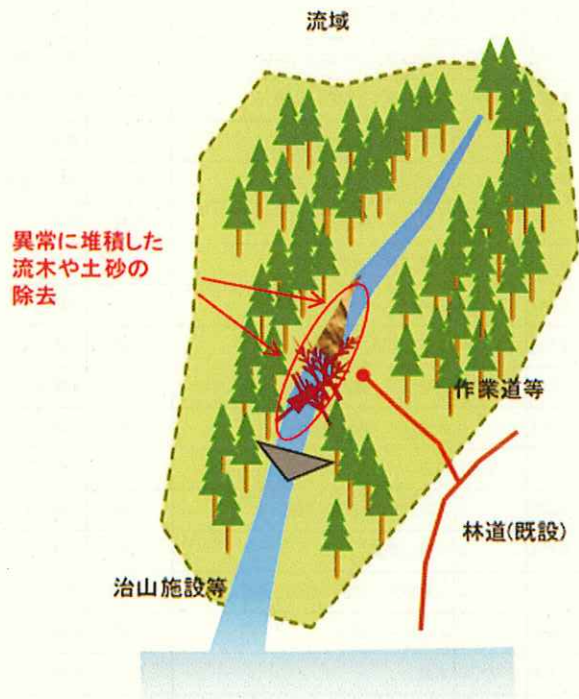


① 溪流部 ② 溪岸部 ③ 山腹部



土砂・流木緊急除去事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、治山施設等に異常に堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与えるおそれのあるものを撤去します。



治山施設に異常に堆積した流木



流木撤去後（大台町）

令和2年度災害に強い森林づくり推進事業 実施箇所表

災害緩衝林整備事業

NO	施行箇所				危険木等 除去体積 (m ³)	危険木等 除去単価 (円/m ³)	調整伐 (ha)	調整伐単 価(円/ ha)	工事費 (千円)	コスト縮 減額(千 円)	保全対象	進捗状況	搬出方法
	郡(市)	町	大字	字									
1	(鈴鹿)		西庄内町	池ノ谷	9.0	12,319	5.50	491,083	6,512	41	林道0.6km	完成	車両
2	(亀山)	-	加太向井	柚ノ木	88.0	5,463	4.98	630,270	9,380	1,081	林道0.4km	完成	車両
3	(亀山)	-	加太梶ヶ坂	虹谷	94.0	5,124	3.57	585,672	7,330	1,052	鉄道50m、林道2.5km	完成	車両
4	(津)	-	白山町福田山	附田	238.0	7,030	1.60	759,426	21,700	2,572	人家33戸、県道	施行中	車両
5	(津)	-	美杉町下之川	大谷	246.0	6,997	1.90	601,136	7,976	2,767	人家20戸、市支所、県道、市道、農地	完成	車両+架線
6	(津)	-	白山町小杉	樋ノ口	179.5	11,620	0.00	0	10,946	455	人家11戸、県道、市道、林道	完成	車両
7	(松阪)	-	小片野町	井口	54.0	4,769	0.63	352,244	3,641	688	人家15戸、国道	完成	車両+架線
8	(松阪)	-	後山町	下ノ古城	15.0	6,990	1.37	1,074,166	3,491	0	人家17戸、市道	完成	山腹引上
9	(松阪)	-	飯南町横野	長谷	54.0	6,404	1.27	683,209	6,206	1,066	人家82戸、公共施設、国道	完成	車両+架線
10	(松阪)	-	飯南町上仁柿	平谷	65.0	5,668	1.43	504,313	8,171	1,297	人家24戸、小学校、国道	完成	車両+架線
11	多気	多気	長谷	柿木谷	57.0	6,139	0.77	418,973	3,784	132	人家58戸、市道、農地	完成	車両
12	多気	多気	神坂	門田	66.0	9,004	0.00	0	7,057	110	人家20戸、小学校、農道	完成	車両+架線
13	多気	大台	唐櫃	横谷	159.0	5,098	2.48	542,748	7,234	263	人家37戸、町道、農地	完成	車両
14	多気	多気	長谷	柿木谷2	44.0	6,057	1.40	607,583	6,926	137	人家58戸、市道、農地	完成	車両
15	(松阪)	-	飯南町上仁柿	平谷2	33.0	2,023	3.32	455,708	5,447	659	人家24戸、小学校、国道	完成	架線
16	度会	南伊勢	伊勢路	セトダニ	16.5	6,993	6.30	654,132	8,492	0	県道、町道	完成	山腹引上
17	度会	大紀	大内山	今瀬谷	0.9	25,656	5.74	610,487	6,807	0	人家15戸、鉄道、国道、町道、農地	完成	山腹引上
18	度会	大紀	大内山	錦谷	2.5	8,547	3.94	704,168	6,227	0	人家15戸、国道、農地	完成	山腹引上
19	(伊賀)	-	上阿波	奥那須ヶ原	205.8	7,438	5.62	524,768	10,714	3,937	県道	完成	車両
20	(伊賀)	-	奥馬野	下馬野	22.8	13,687	2.45	584,587	3,488	0	人家7戸、公民館、県道	完成	山腹引上
21	(伊賀)	-	鳥ヶ原	観節	28.6	13,726	7.53	410,098	8,727	0	市道、農道	完成	山腹引上
22	(伊賀)	-	高尾	奥出	58.0	14,012	35.53	337,158	27,471	0	人家12戸、国道、市道、林道	施工中	車両
23	(尾鷲)	-	早田町	矢瀬	76.0	5,801	1.54	692,539	4,895	2,330	人家14戸、国道	完成	架線
24	北牟婁	紀北	島原	柚原	34.0	8,909	3.10	630,240	6,158	2,670	県道	完成	架線
25	(尾鷲)	-	南浦	小原野 奥石谷	0.1	95,610	1.04	670,355	2,674	0	発電所、林道	完成	
26	(尾鷲)	-	三木里町	定山	107.0	6,358	1.39	583,681	5,766	3,205	人家28戸、交番、鉄道	完成	架線
27	(熊野)	-	井戸町	鷺ノ谷	208.0	6,210	5.31	534,231	1,130	5,711	人家6戸、県道	施工中	車両
28	(熊野)	-	紀和町矢ノ川	後地	215.0	7,595	5.54	498,614	16,940	4,569	人家10戸	完成	車両+架線
29	南牟婁	紀宝	高岡	蛇崩	27.0	14,135	0.48	343,875	1,643	0	人家23戸、県道	施工中	山腹引上
30	南牟婁	紀宝	鮎田	茶木原	22.0	14,627	1.96	474,872	3,341	0	人家32戸、町道、農地	完成	山腹引上
	合計	13市町		30箇所	2,425.7	平均 11,667	117.7	平均 570,012	230,274	34,742			

土砂・流木緊急除去事業

工事 番号	施行箇所				土砂体積 (m ³)	土砂単価 (円/ m ³)	流木体積 (m ³)	流木単価 (円/ m ³)	工事費 (千円)	コスト縮 減額(千 円)	保全対象	工期	搬出方法
	郡市	町	大字	字									
1	(松阪)	-	飯高町船戸	大崩	1072.0	2,518	0	0	8,356	0	人家13戸、市道、林道、公民館、農地	完成	建設機械
2	多気	大台	検原	東又谷	7050.0	1,902	0	0	24,683	0	人家12戸、国道、集会所、農地	施工中	建設機械
3	(名張)	-	青蓮寺	青蓮寺山	0.0	0	104	14,135	8,187	0	公共施設	完成	建設機械
4	北牟婁	紀北	島勝浦	中熊	88.0	8,947	0.19	44,526	1,540	0	人家7戸	完成	建設機械
	合計	4市町		4箇所	8,210.0	平均 4,456	104.2	平均 29,331	42,766	0			

災害に強い森林づくり推進事業合計

合計	14市町		34箇所					273,040	34,742				
----	------	--	------	--	--	--	--	---------	--------	--	--	--	--

災害緩衝林整備事業

溪流部 危険木除去

事例1 亀山市 (柚ノ木)

整備前



整備後



災害緩衝林整備事業

山腹部 調整伐

事例1 亀山市 (柚ノ木)

整備前



整備後



災害緩衝林整備事業

搬出状況

搬出状況

事例1 亀山市 (柚ノ木)



災害緩衝林整備事業

搬出状況

事例1 亀山市 (柚ノ木)

チップ利用

一般廃棄物搬出



災害緩衝林整備事業

溪流部・溪岸部 危険木除去

事例2 津市（樋ノ口）

整備前



整備後



災害緩衝林整備事業

溪流部・溪岸部 危険木除去

事例2 津市（樋ノ口）

整備前



整備後



災害緩衝林整備事業

溪流部・溪岸部 危険木除去

事例2 津市（樋ノ口）

整備前

整備後



災害緩衝林整備事業

集材作業状況

事例2 津市（樋ノ口）



災害緩衝林整備事業

溪流部 危険木除去

事例3 大台町（横谷）

整備前

整備後



災害緩衝林整備事業

溪岸部 調整伐

事例3 大台町（横谷）

整備前

整備後



災害緩衝林整備事業

山腹部 調整伐

事例3 大台町（横谷）

整備前

整備後



災害緩衝林整備事業

集材作業状況

事例3 大台町（横谷）



災害緩衝林整備事業

溪流部 危険木除去

事例4 南伊勢町（セトダニ）

整備前

整備後



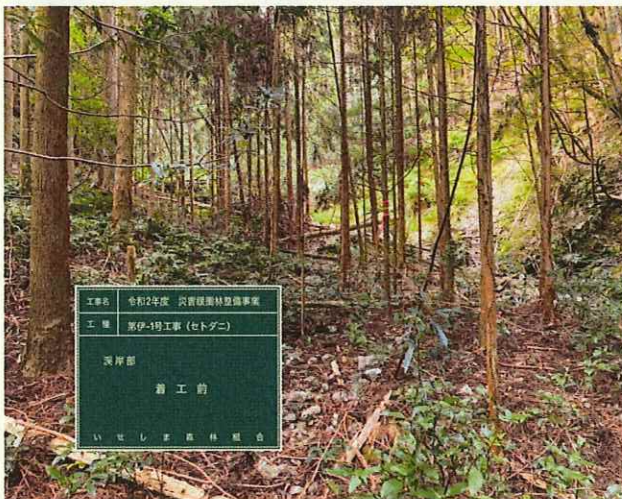
災害緩衝林整備事業

溪岸部 調整伐

事例4 南伊勢町（セトダニ）

整備前

整備後



災害緩衝林整備事業

山腹部 調整伐

事例4 南伊勢町 (セトダニ)

整備前

整備後

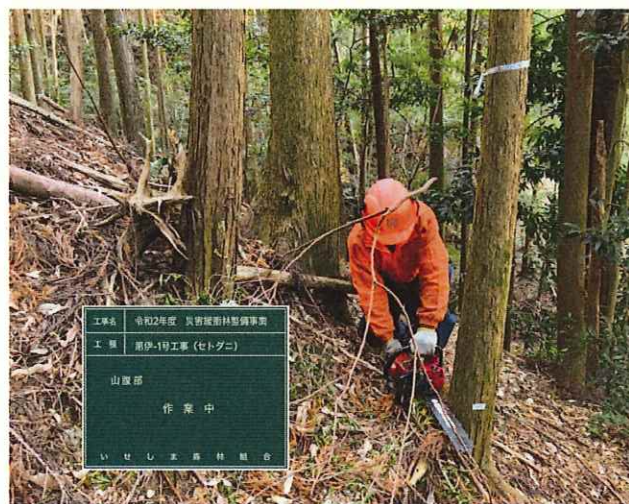
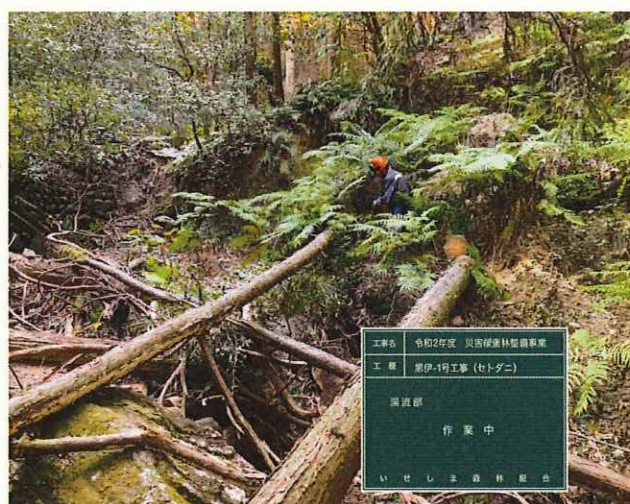


災害緩衝林整備事業

伐採作業状況

伐採作業状況

事例4 南伊勢町 (セトダニ)



災害緩衝林整備事業

溪流部 危険木除去

事例5 伊賀市（下馬野）

整備前



整備後



災害緩衝林整備事業

溪岸部 調整伐

事例5 伊賀市（下馬野）

整備前



整備後



災害緩衝林整備事業

山腹部 調整伐

事例5 伊賀市（下馬野）

整備前



整備後



災害緩衝林整備事業

伐採作業状況

搬出作業状況

事例5 伊賀市（下馬野）



災害緩衝林整備事業 溪流部 危険木除去

事例6 紀北町（柚原）

整備前

整備後

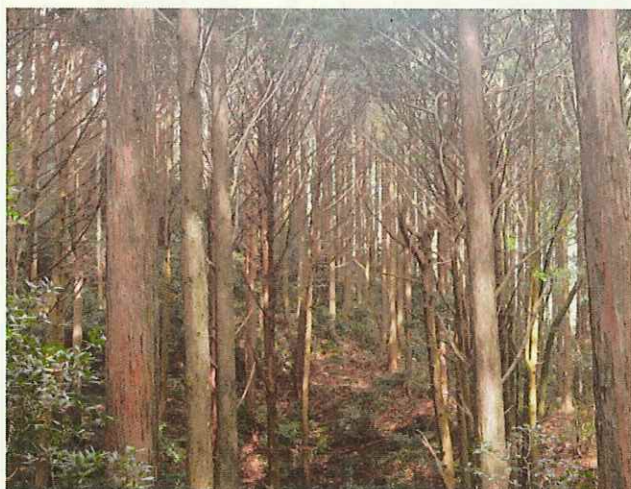


災害緩衝林整備事業 溪岸部 調整伐

事例6 紀北町（柚原）

整備前

整備後



災害緩衝林整備事業

山腹部 調整伐

事例6 紀北町（柚原）

整備前

整備後



災害緩衝林整備事業

伐採作業状況

架線集材状況

事例6 紀北町（柚原）



災害緩衝林整備事業

溪流部 危険木除去

事例7 紀宝町（茶木原）

整備前

整備後



災害緩衝林整備事業

山腹部 調整伐

事例7 紀宝町（茶木原）

整備前

整備後



災害緩衝林整備事業

既伐倒木横並

事例7 紀宝町（茶木原）

整備前

整備後



災害緩衝林整備事業

集材作業状況

事例7 紀宝町（茶木原）



土砂・流木緊急除去事業

撤去土砂体積 1,072m³

事例1 松阪市（大崩）

整備前

整備後

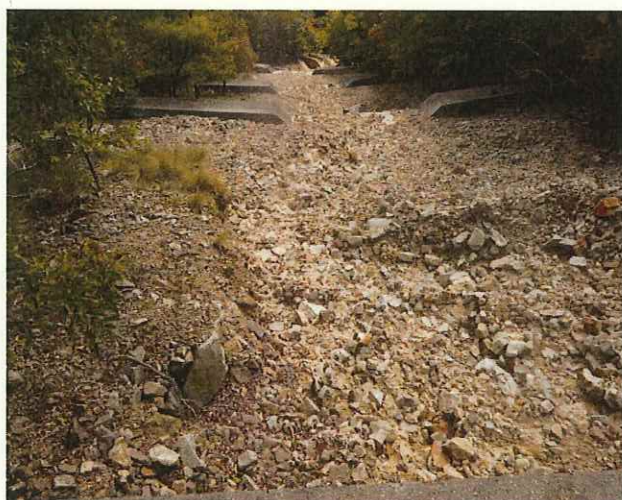


土砂・流木緊急除去事業

事例1 松阪市（大崩）

整備前

整備後



土砂・流木緊急除去

撤去土砂体積 88m³

事例2 紀北町（中熊）

整備前

整備後



土砂・流木緊急除去

事例2 紀北町（中熊）

整備前

整備後



災害に強い森林づくり推進事業のPR

1. パネル展示

令和2年度に各県庁舎及び各市町庁舎等の32箇所でのPRのためのパネル展示を実施しました。

2. 工事現場でのPR

各工事実施現場で「みえ森と緑の県民税」を活用した事業であることをPRするため、下記の①～③を実施しました。

- ① 施工前に「のぼり」を設置
- ② 施工中に工事看板を設置
- ③ 完成後にPR標柱を設置

3. 事業実績を三重県HPに公開

平成26年度～令和元年度の事業実績として、事業箇所一覧表、位置図及び箇所ごとの整備図面、整備対比写真を公開しています。（令和2年度の事業実績については現在準備中です。）

災害に強い森林づくり推進事業 PR展示等の展示場所及び展示期間

県庁舎等

	展示場所	展示期間	日数
本庁	本庁舎 1F県民ホール	令和3年1月12日 ～ 令和3年1月15日	4日
本庁	三重県立図書館 展示図ベース	令和2年12月8日 ～ 令和3年1月29日	53日
四日市農林事務所	四日市庁舎1階県民ホール	令和3年1月12日 ～ 令和3年1月22日	11日
津農林水産事務所	津庁舎1F玄関ホール	令和3年2月15日 ～ 令和3年2月25日	14日
松阪農林事務所	松阪庁舎玄関ホール	令和3年3月8日～ ～ 令和3年3月22日	15日
伊勢農林水産事務所	伊勢庁舎 1階ロビー	令和2年10月19日 ～ 令和2年10月30日	12日
伊勢農林水産事務所	伊勢庁舎 2階ロビー	令和2年11月1日 ～ 令和3年3月31日	151日
伊勢農林水産事務所	伊勢庁舎 1階ロビー	令和3年2月8日 ～ 令和3年2月18日	11日
伊賀農林事務所	伊賀庁舎 2F 県民ロビー西	令和2年8月3日 ～ 令和2年8月31日	29日
伊賀農林事務所	伊賀庁舎 2F 県民ロビー	令和3年1月15日 ～ 令和3年1月29日	15日
尾鷲農林水産事務所	尾鷲庁舎 1階県民ホール	令和2年8月17日 ～ 令和2年8月28日	12日
熊野農林事務所	熊野庁舎 1階県民ホール	令和3年1月20日 ～ 令和3年1月29日	10日

市町村庁舎等

	展示場所	展示期間	日数
四日市市	四日市市農水振興課窓口	令和3年2月1日 ～ 令和3年2月12日	12日
桑名市	桑名市役所庁舎2階ロビー	令和3年2月15日 ～ 令和3年3月1日	15日
いなべ市	シビックコア棟 1F 展示場	令和3年1月20日 ～ 令和3年1月29日	10日
亀山市	亀山市役所庁舎2階 森林林業グループカウンター	令和3年1月14日 ～ 令和3年3月12日	58日
鈴鹿市	鈴鹿市役所庁舎7階 農林水産課前	令和3年1月25日 ～ 令和3年2月26日	33日
木曾岬町	木曾岬町役場庁舎1階ロビー	令和3年2月1日 ～ 令和3年2月12日	12日
東員町	東員町役場庁舎 2階ロビー	令和3年1月15日 ～ 令和3年2月12日	29日
川越町	川越町役場庁舎1階ロビー	令和3年2月8日～ ～ 令和3年3月25日	46日
朝日町	朝日町役場庁舎 1階 ロビー展示室	令和3年2月3日～ ～ 令和3年3月3日	29日
菰野町	菰野町役場庁舎 2階	令和3年2月24日～ ～ 令和3年3月10日	15日
津市	白山庁舎 2F階段壁面	令和3年2月1日 ～ 令和3年3月31日	59日
松阪市	松阪市飯高地域振興局 1F窓口	令和3年1月20日 ～ 令和3年3月31日	70日
明和町	明和町役場西側玄関口	令和3年1月27日 ～ 令和3年3月28日	61日
多気町	多気町民文化会館	令和3年3月1日 ～ 令和3年3月28日	28日
大台町	大台町宮川総合支所 1Fロビー	令和3年2月22日 ～ 令和3年3月15日	22日
名張市	名張市庁舎 1F 市民ホール	令和3年2月1日 ～ 令和3年2月10日	10日
伊賀市	伊賀市庁舎 3F スペース	令和3年2月15日 ～ 令和3年2月26日	12日
熊野市	熊野市文化交流センターホール	令和3年1月30日 ～ 令和3年2月5日	7日
御浜町	御浜町役場1階ホール	令和3年2月8日 ～ 令和3年2月12日	5日
紀宝町	紀宝町役場 1階通路	令和3年2月15日 ～ 令和3年2月19日	5日

県庁舎及び市町庁舎等の PRパネル展示状況



四日市庁舎



伊勢庁舎



尾鷲庁舎



津市 白山庁舎



工事現場のPR状況

1. 施工前に「のぼり」を設置



2. 施工中の工事看板に税の内容を記載して設置



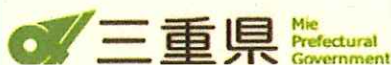
3. 完成後に P R 標柱を設置



No.	種別	種名	直径	高さ	設置場所	設置時期
1	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
2	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
3	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
4	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
5	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
6	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
7	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
8	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
9	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
10	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
11	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
12	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
13	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
14	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
15	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
16	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
17	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
18	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
19	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
20	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
21	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
22	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
23	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
24	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
25	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
26	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
27	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
28	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
29	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
30	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
31	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
32	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
33	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
34	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
35	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
36	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
37	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
38	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
39	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
40	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
41	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
42	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
43	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
44	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
45	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
46	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
47	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
48	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
49	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10
50	PR	スギ	100	1.5	山内	2018.10

災害に強い森林づくり推進事業

県ホームページによる情報発信



「みえ森と緑の県民税」を活用した県で取り組む事業

三重県では、近年頻発する豪雨等の異常気象による山地災害を防ぐため、平成26年度から「みえ森と緑の県民税」を活用し、流木や土砂の流出の発生のある恐れのある溪流沿いの森林において、「災害に強い森林づくり推進事業」に取り組んでいます。

「災害に強い森林づくり推進事業」は、次の2つの事業を実施しています。

- ①「災害緩衝林整備事業」では、溪流内の危険木の除去、流木や土砂の流出を軽減するための森林整備。
- ②「土砂・流木緊急除去事業」では、治山施設等に異常に堆積して流出の恐れがある土砂や流木の除去。

令和元年度に実施した箇所を以下の一覧表にまとめましたのでご覧ください。

また、一覧表の地図写真欄の **PDF** をクリックすると箇所毎の地図と写真（整備前と整備後の対比写真）がご覧になれます。

PDF 令和元年度事業位置図

①

令和元年度災害に強い森林づくり推進事業実施箇所一覧表

①災害緩衝林整備事業

市町名	大字等	地区名	危険木等除去体積(m ³)	調整伐面積 (ha)	地図写真
いなべ市	北勢町畑毛	北之谷	16	0.42	PDF
鈴鹿市	西庄内町	池ノ谷	63	2.60	PDF
亀山市	加太向井	柚ノ木	57	1.43	PDF
亀山市	加太神武	奥ノ井出	96	3.70	PDF
津市	一志町波瀬	桑俣	15	2.00	PDF
津市	美杉町下之川	大谷	157	3.30	PDF
津市	白山町福田山	附田	201	3.77	PDF
津市	美杉町丹生俣	笹谷	145	1.40	PDF
松阪市	飯南町深野	藏谷	314	1.03	PDF
松阪市	飯南町田引	小田	150	0.41	PDF
松阪市	飯高町宮本	谷ノ奥	34		PDF
大台町	唐櫃	横谷（西八カセ）	72	0.11	PDF
大台町	熊内	横谷	307	7.33	PDF
大台町	栗谷	宮の谷2	540	0.57	PDF
大台町	栗谷	寺浦	162	0.11	PDF
南伊勢町	伊勢路	セトダニ	1.7	2.83	PDF
大紀町	永会	若瀬谷	18.2	1.13	PDF
大紀町	阿曾	片倉	25.8	2.28	PDF
大紀町	大内山	向井	14	7.66	PDF
大紀町	大内山	今瀬谷	16	3.03	PDF
伊賀市	上阿波	奥那須ヶ原	77.8	4.69	PDF

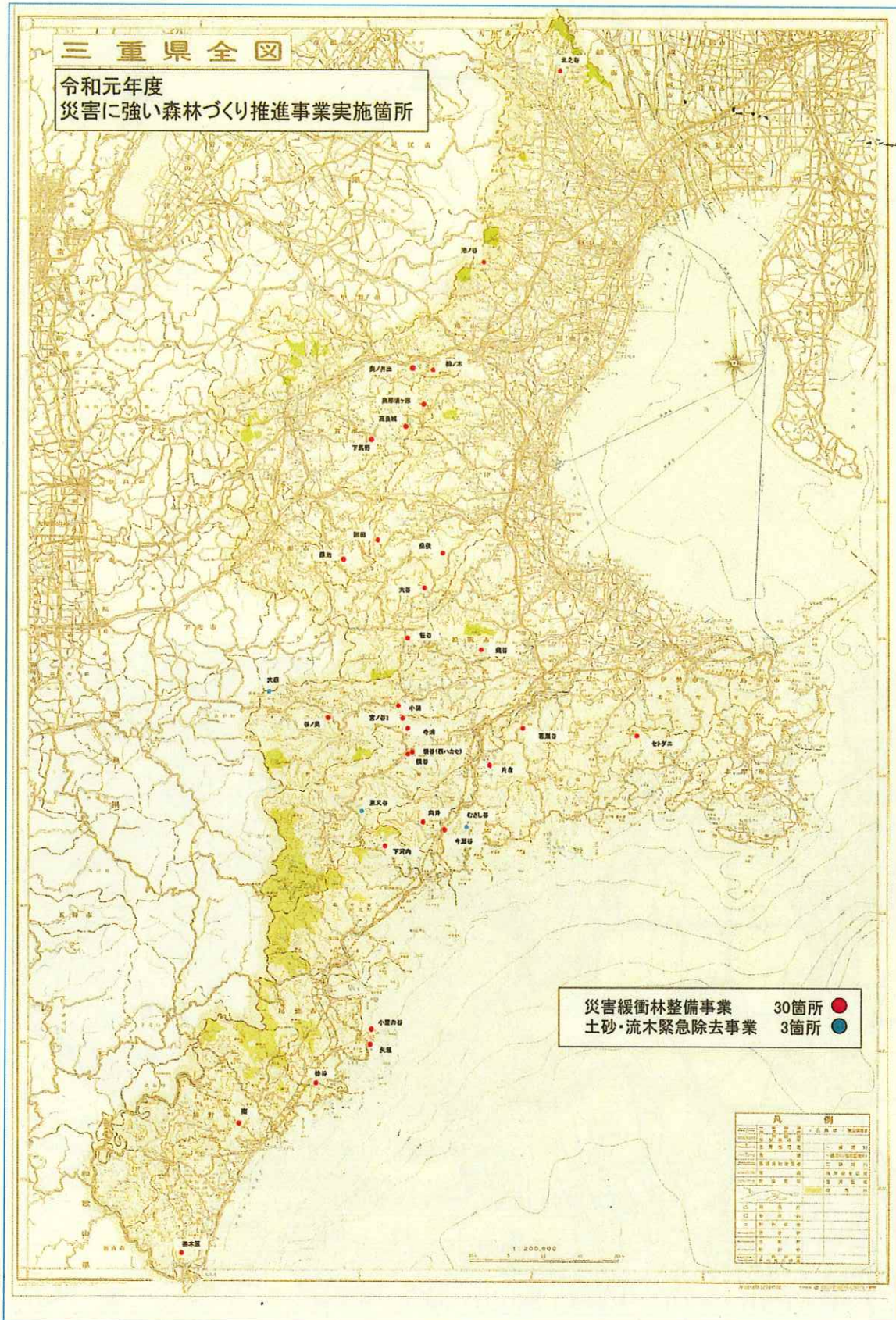
②

災害に強い森林づくり推進事業

県ホームページによる情報発信

PDF 令和元年度事業位置図

①

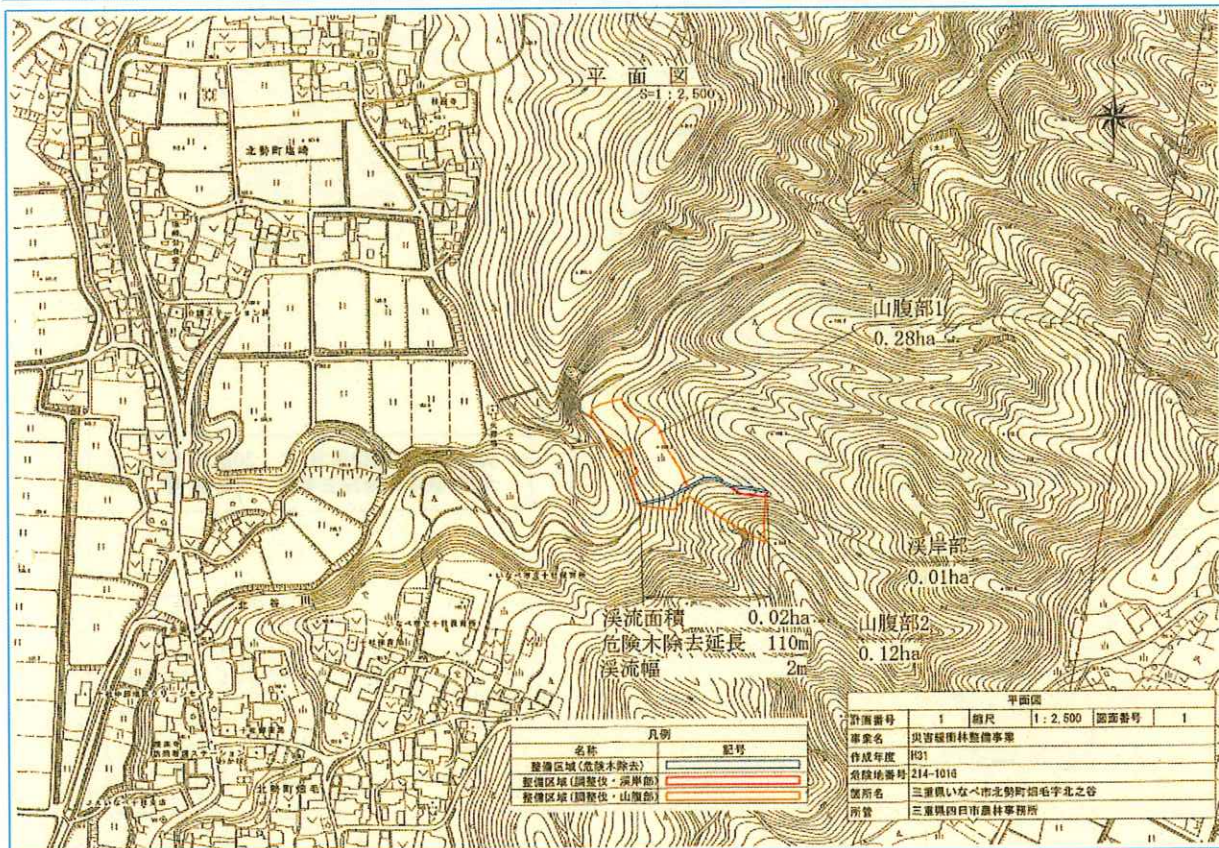


災害に強い森林づくり推進事業

県ホームページによる情報発信

PDF 災害緩衝林整備事業（いなべ市北勢町畑毛 北之谷地区）

②



災害に強い森林づくり推進事業

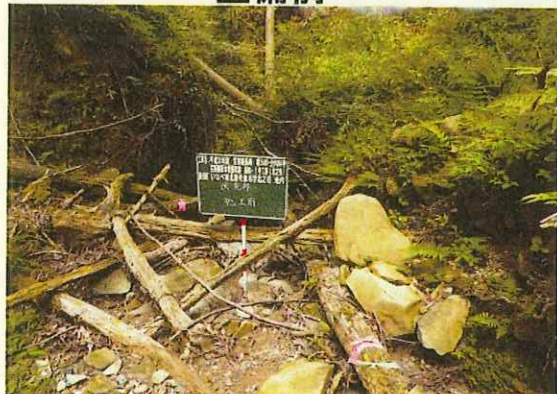
県ホームページによる情報発信

PDF 災害緩衝林整備事業（いなべ市北勢町畑毛 北之谷地区） ②

溪流部 危険木除去

北之谷

整備前



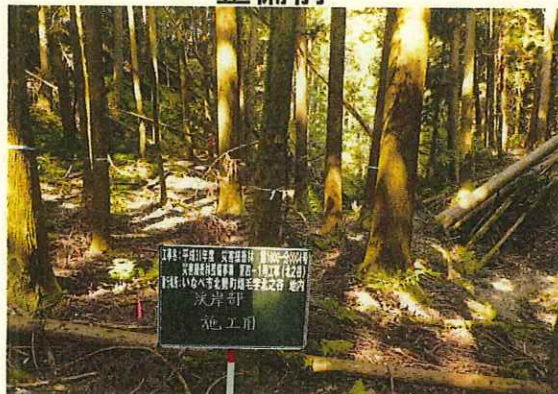
整備後



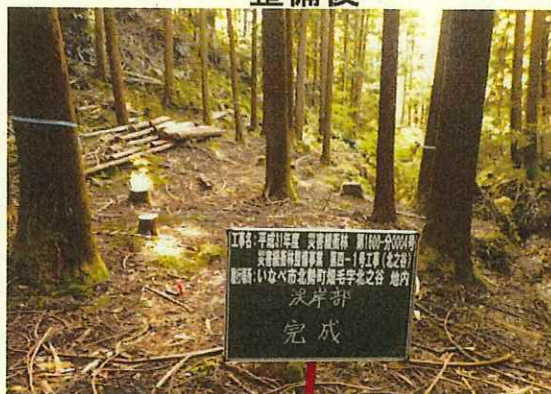
溪岸部 調整伐

北之谷

整備前



整備後



災害に強い森林づくり推進事業

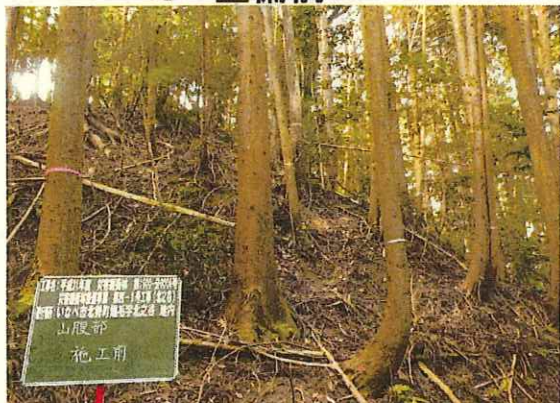
県ホームページによる情報発信

PDF 災害緩衝林整備事業（いなべ市北勢町畑毛 北之谷地区） ②

山腹部 調整伐

北之谷

整備前



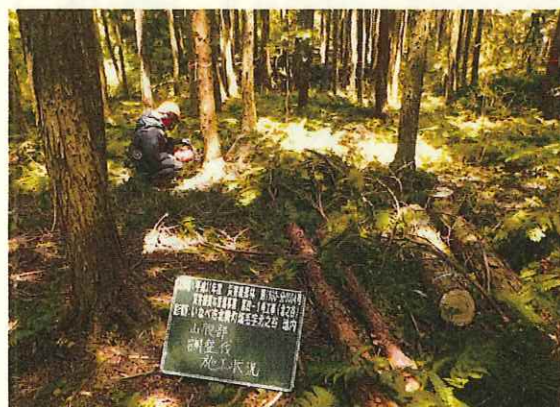
整備後



伐採作業状況

集材作業状況

北之谷



令和2年度 災害に強い森林づくり推進事業
 効果検証にかかる調査・研究事業 (林業研究所)

事業目的と検証事項

□ 山腹部・・・調整伐による立木の成長の促進、
 斜面安定効果及び土砂流亡抑制効果発揮に対して

効果検証が必要な事項 ・斜面安定効果、土砂流亡抑制効果は発揮できるか？
 ・立木の成長は促進されるか？

□ 溪岸部・・・調整伐による立木の成長の促進に対して

効果検証が必要な事項 ・立木の成長は促進されるか？

□ 渓流部・・・危険木除去による流木発生抑制効果に対して

効果検証が必要な事項 ・流木発生抑制効果は持続しているか？・・・項目3



効果検証にかかる調査・研究

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査

根系発達による斜面安定効果を検証するために

- ① 根系分布調査、根引き抜き試験により、表層崩壊防止力を把握
- ② 土砂流亡量調査で、土砂流亡抑制効果の持続期間を把握



調整伐と伐倒木を利用した土砂止の設置



根引き抜き試験



根系分布調査

土砂流亡量調査

根引き抜き試験及び根系分布調査の実施、土砂流亡量の継続調査

項目2 UAV(ドローン)を用いた森林モニタリング調査

成長促進効果を検証するために

UAV空撮画像の解析により事業実施箇所の森林状況の変化を把握



調整伐実施後の状態変化を調査

項目3 整備森林における危険木発生状況調査

危険木除去による流木発生抑制効果を検証するために

危険木を除去した渓流での流木等危険木発生状況を把握



整備前



整備後



現状？

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査 (R1~5)

目的

- ① **根系による表層崩壊防止力の把握**・・・山腹部における調整伐実施による斜面安定効果(樹木根系の支持機能向上)を明らかにする。
- ② **土砂流出量の継続調査**・・・調整伐実施、土砂止設置による土砂流出抑制効果の持続期間を明らかにする。

方法

- ① 根引き抜き試験と根系分布調査から根系による表層崩壊防止力を明らかにし、調整伐実施地と未実施地との比較検証を行う。
- ② 平成27~29年度に土砂流出量観測を行った試験地の一部で土砂流出量の継続観測を行い、土砂流出抑制効果の持続期間を検証する。三重大学との共同研究で実施する。

これまでに実施した内容

- ① 津市内において、スギ生立木5本から43本、ヒノキ生立木3本から54本の根を選定して引き抜き試験を行い、根直径と引き抜き抵抗力、引き抜き変位との関係などから崩壊防止力推定に必要なパラメータを求めた。また、大台町内のスギ林1カ所、ヒノキ林1カ所において調整伐実施地と未実施地で各3断面の根系分布調査を行うことで根直径別の本数データを求め、根引き抜き試験で得たパラメータを適用して崩壊防止力を算出した(図-1)。
- ② 県内3カ所の試験地において、土砂受け箱内に入った土砂を2カ月おきに調査することで土砂流出量の観測を行った(図-4)。調整伐後の林床被覆率上昇に伴う土砂流出量の減少傾向が持続していた(図-2)。

今後の予定

- ① 引き続き、調整伐実施地と未実施地における根系分布調査を行い、根系による表層崩壊防止力のデータを収集する。収集したデータをもとに調整伐実施地と未実施地との比較により調整伐の効果を検証する。
- ② 土砂流出量の観測を継続し、土砂流出抑制効果の持続期間を明らかにする。

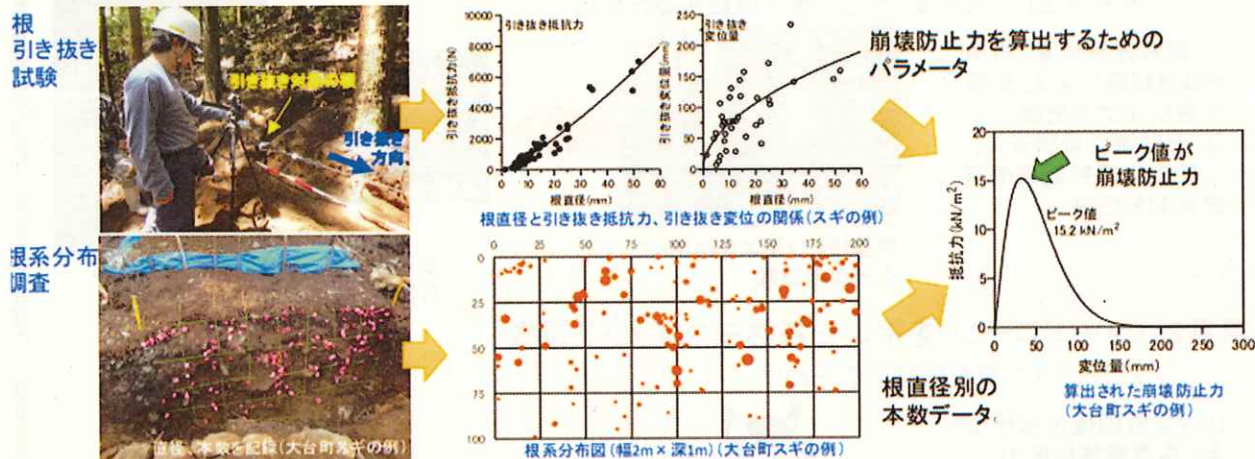


図-1. 根引き抜き試験と根系分布調査による崩壊防止力の調査

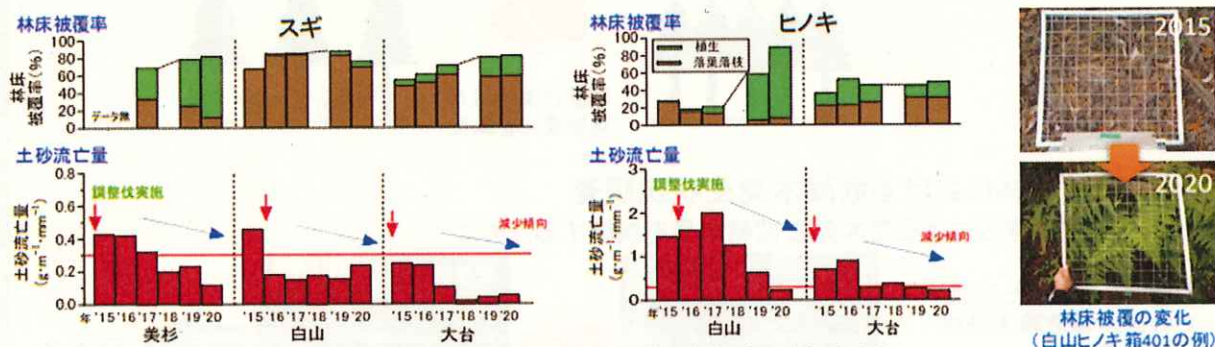


図-2. 調整伐後の林床被覆率と土砂流出量の経年変化(土砂止有)

項目2 UAVを用いた森林モニタリング調査 (R1~5)

目的

山腹部、溪岸部での調整伐による立木の肥大成長促進や健全性向上の効果を明らかにする。

方法

平成26年度より、航空レーザ測量データを用いて調整伐前後の森林状態の変化を広域的にモニタリングしている。UAV(ドローン)を使用することで、面積は限定されるものの低コストで即時的に森林情報を得られる可能性がある。そのため、令和元年度以降、UAVから高精度で森林情報を取得するための技術を開発し、UAVを用いて既に設定したモニタリング区域の一部や他の事業実施地において、調整伐後の森林状態を複数年追跡調査することで、調整伐の実施効果を引き続き検証する。名古屋大学との共同研究で実施する。

これまでに実施した内容

平成26年度設定モニタリング区域内(大台町)において令和元年度に設定した3カ所の空撮区域、令和元年度事業実施地3カ所において令和元年度に設定した空撮区域で空撮(機種Mavic2pro、重複率90%)を行った(図-3、4)。新たに津市内に空撮区域を追加設定して、調整伐前の空撮を行った(図-4)。同時に、各空撮区域内において、精度検証データ取得のため現地で立木の実測調査を行った。得られたデータは共同研究先の大学に提供し、空撮画像解析、森林情報解析技術の開発に取り組んだ(図-5、6)。

今後の予定

引き続き、設定した空撮区域において定期的にUAV空撮、現地実測調査を行い、得られたデータを用いて森林情報解析技術の開発を行う。UAV画像から解析された森林資源情報から調整伐実施効果を検証する。



図-3. H26設定モニタリング区域内に設定した空撮区域と概要



図-4. 空撮区域の位置と概要

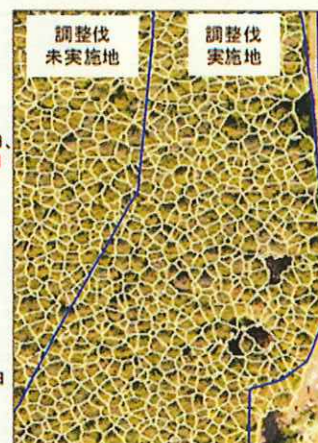


図-5. 解析事例(大台町ヒノキ)

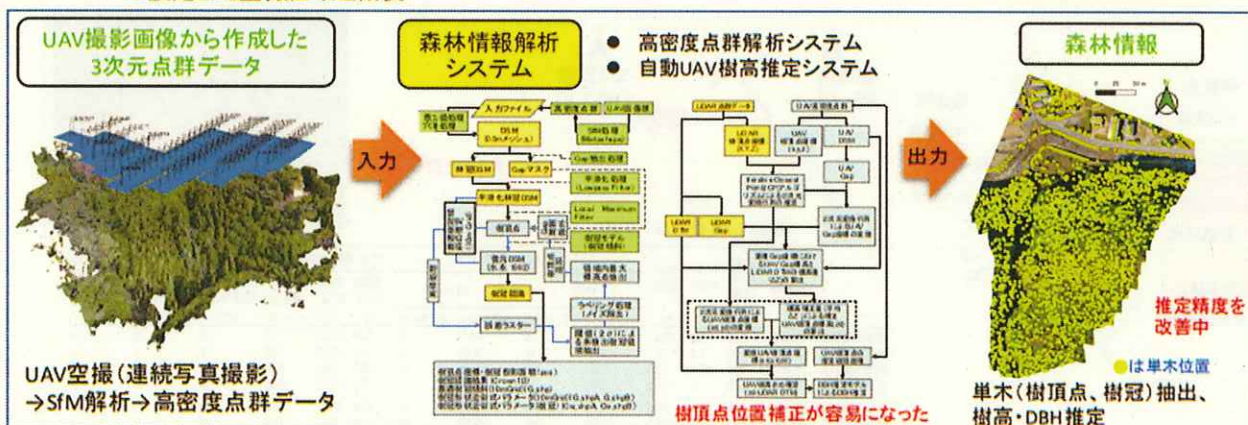


図-6. 開発中のUAVによる森林情報解析技術

項目3 整備森林における危険木発生状況調査 (R1~5)

目的

溪流部で実施している危険木(倒流木)除去による流木発生抑制効果を検証する。

方法

事業により溪流部の危険木除去を行った溪流(既整備溪流)における倒流木発生の現況について多点調査を行う。また、より効果的で除去効果の持続性も高い整備手法を検討するには、倒流木の発生要因、滞留状況、形態的特性、豪雨等に伴う挙動を明らかにする必要があることから、既整備溪流、未整備溪流に固定試験地を設定して倒流木の移動、発生、消失等のモニタリングを行う。三重大学との共同研究で実施する。

これまでに実施した内容

平成26、27年度に溪流部の危険木除去を行った松阪市と大台町内15箇所の既整備流域、計9530mで溪流部の踏査を行い、倒流木の位置、サイズや腐朽度等の形態的特性、発生要因等を調査した(図-7、8)。また、令和元年度に設定した固定試験地(既整備溪流4、未整備溪流1)に加え、新たに1つの未整備溪流に、固定試験地を設定し、設定時に倒流木の位置、サイズや腐朽度等の形態的特性、発生要因等を調査した(図-9)。各固定試験地において冬季の渇水期に追跡調査を行い、倒流木の発生、消失、移動などを調査した。

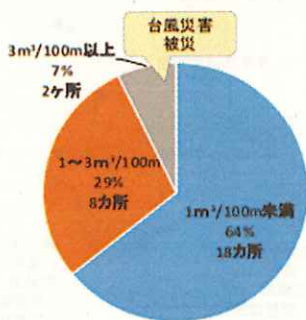
今後の予定

引き続き、平成26、27年度の既整備流域を対象に溪流部の踏査を行う。これまでに設定した4つの既整備溪流、2つの未整備溪流の固定試験地において追跡調査を行い、危険木の発生、消失、移動状況を調査する。得られたデータの解析を行い、危険木除去による流木発生抑制効果を検証する。



図-7. 既整備流域の多点調査位置

倒流木の材積別の箇所数割合



倒流木の発生要因

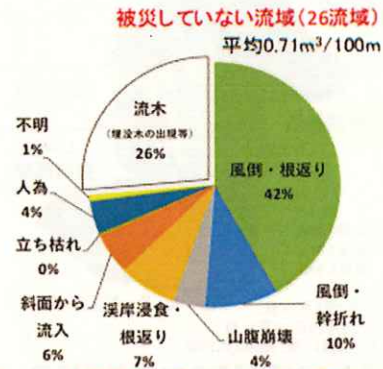


図-8. 既整備流域の多点調査における倒流木の材積、発生要因



市町名	調査区間延長	平均勾配	集水面積	調査開始時の倒流木量		調査開始時から令和2年度通観調査までの倒流木挙動						
				倒木	流木	期間日数	期間雨量	最大日雨量	落下した倒流木数	所在不明倒流木数	新規発生倒流木数	
	m	‰	ha	m³/100m	本/100m	日	mm	mm/日	本*	本*	本*	
既整備流域 亀山市	559	4.9	108.1	0.26	5	8	526	2587	161	5	8	18
既整備流域 伊賀市	508	7.3	15.7	0.01	0	8	499	2715	109	2	0	13
既整備流域 松阪市	283	15.3	27.2	0.62	1	11	532	3000	225	5	3	6
既整備流域 大台町	673	7	53.2	0.60	1	1	519	3413	206	2	0	7
未整備流域 津市1	745	11.6	30.6	5.21	24	16	553	3351	296	2	0	17
未整備流域 津市2	368	10	18.3	2.68	40	23	166	647	108	0	0	4

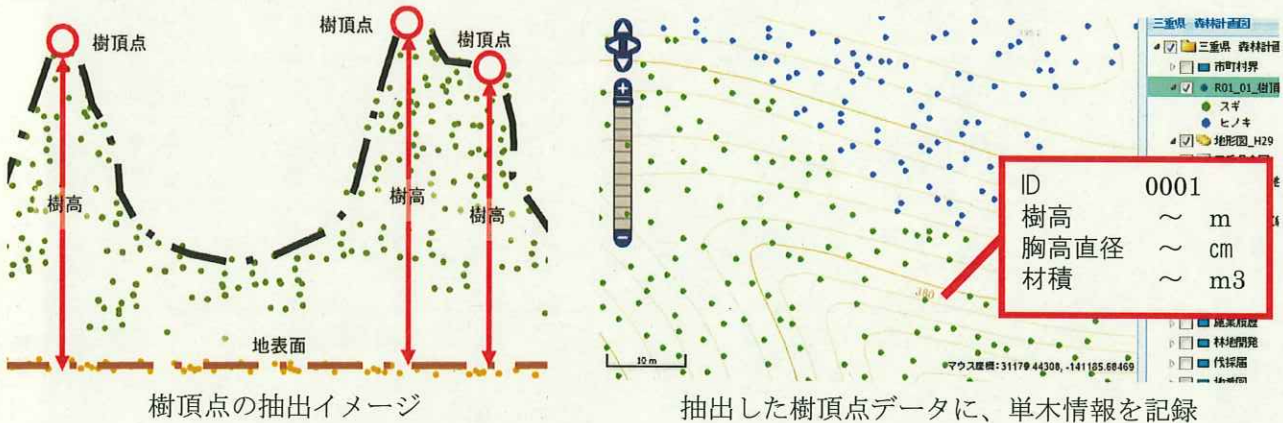
図-9. 固定試験地の位置と概要

*1: 調査区延長間当たりの本数

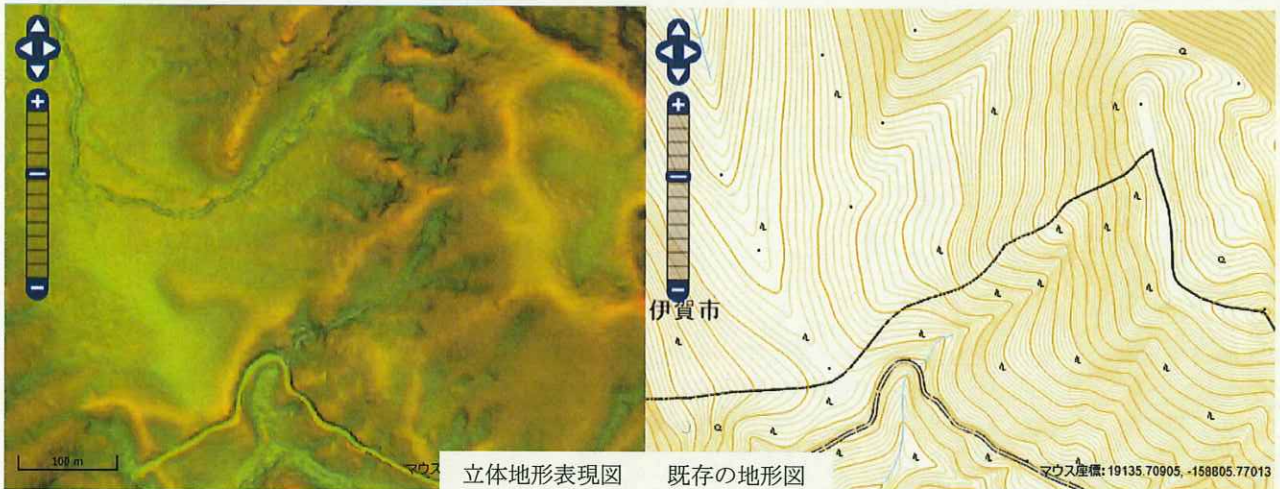
森林情報基盤整備事業

樹種や樹高、立木密度、材積等の森林資源情報を正確に把握することは、森林整備を行ううえで重要であるとともに、精度の高い3次元地形データを取得することにより、災害発生の危険性の高い地域等を効率的に把握することが可能となることから、災害に強い森林づくりをより効果的に進めるため、航空レーザ測量を実施します。

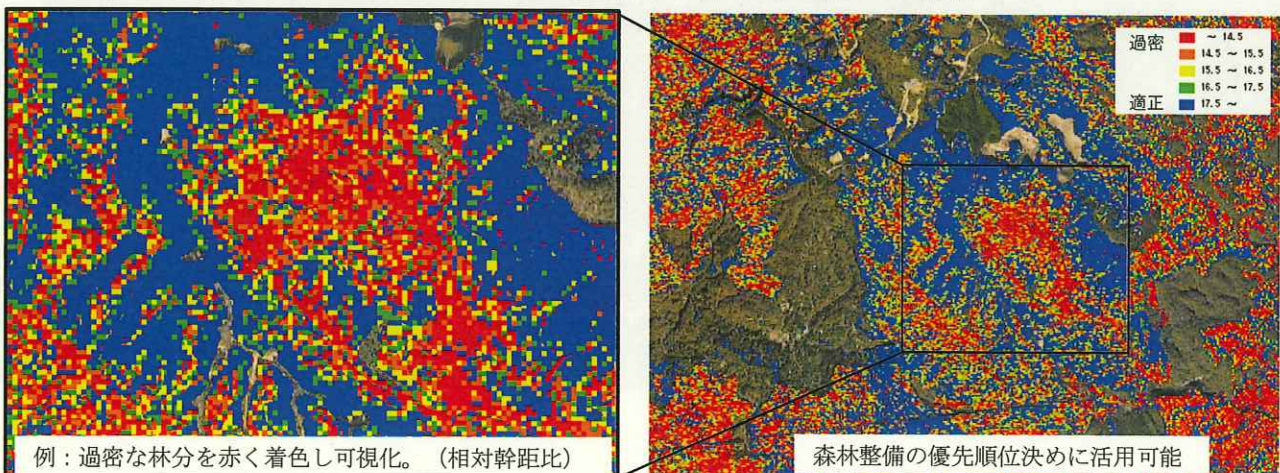
① 樹頂点の位置を抽出し、単木情報（樹高や本数、太さ、単木材積）を推定・記録



② 従来の地形図よりも詳細な地形情報の取得

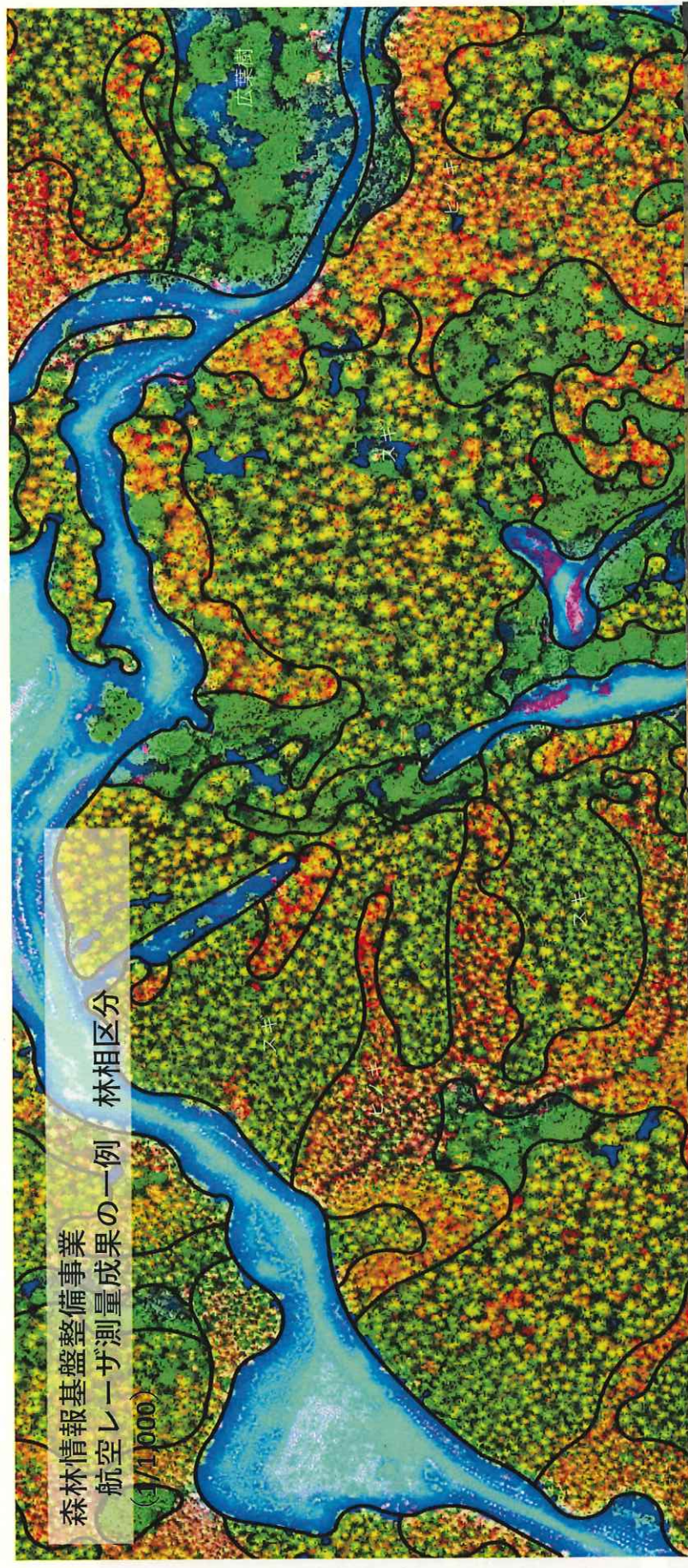


③ 単木情報を林分単位（10m×10m）に集約し、森林の状態を可視化



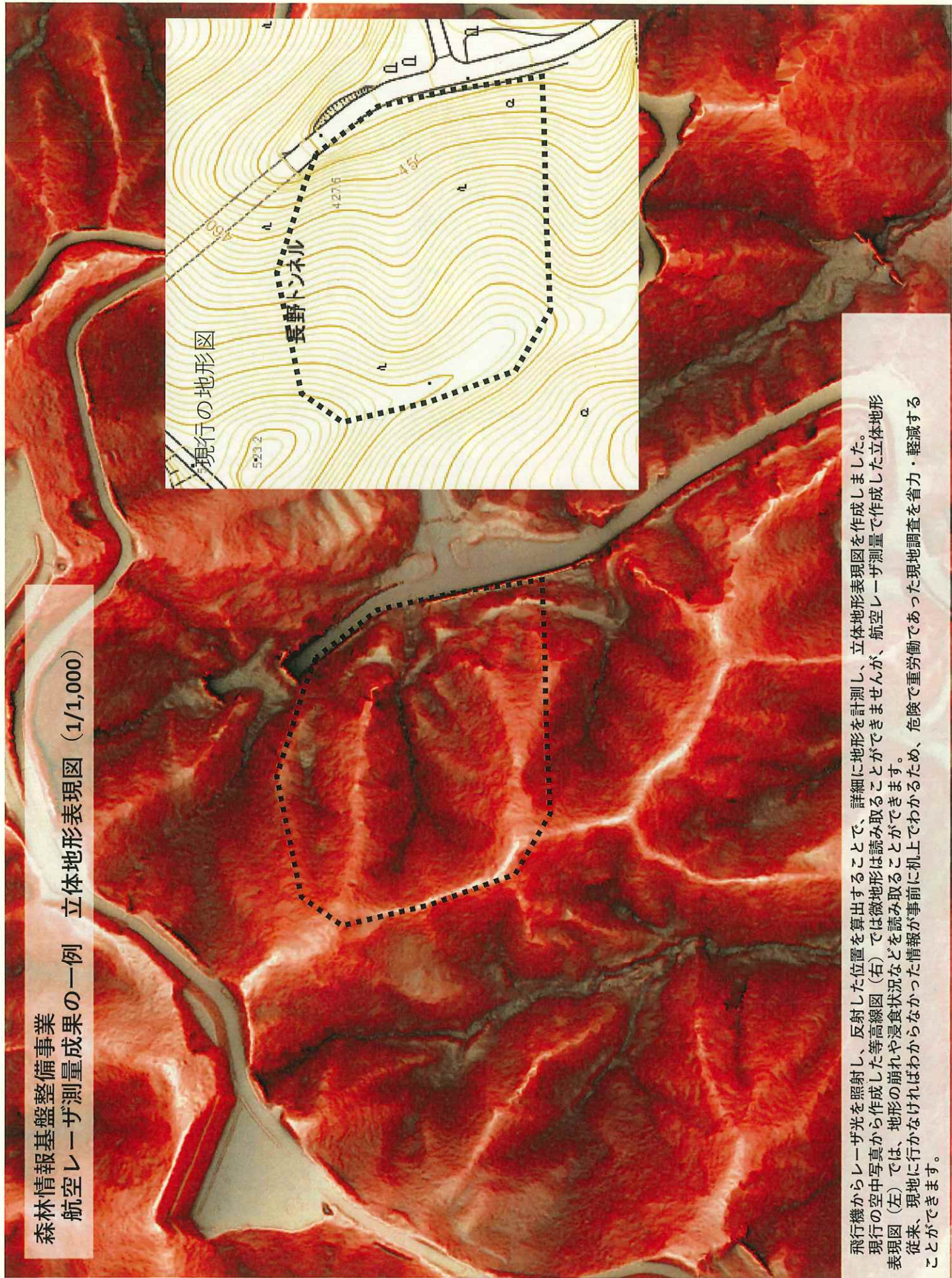
森林情報基盤整備事業
航空レーザ測量成果の一例 林相区分

(1/1,000)



飛行機から照射したレーザの反射光の強さ等を用いて調製した「林相判読支援図」(上背景)を活用することで、空中写真(下背景)では影で見えづらい箇所についても、正確な林相区分(黒線)が可能となります。

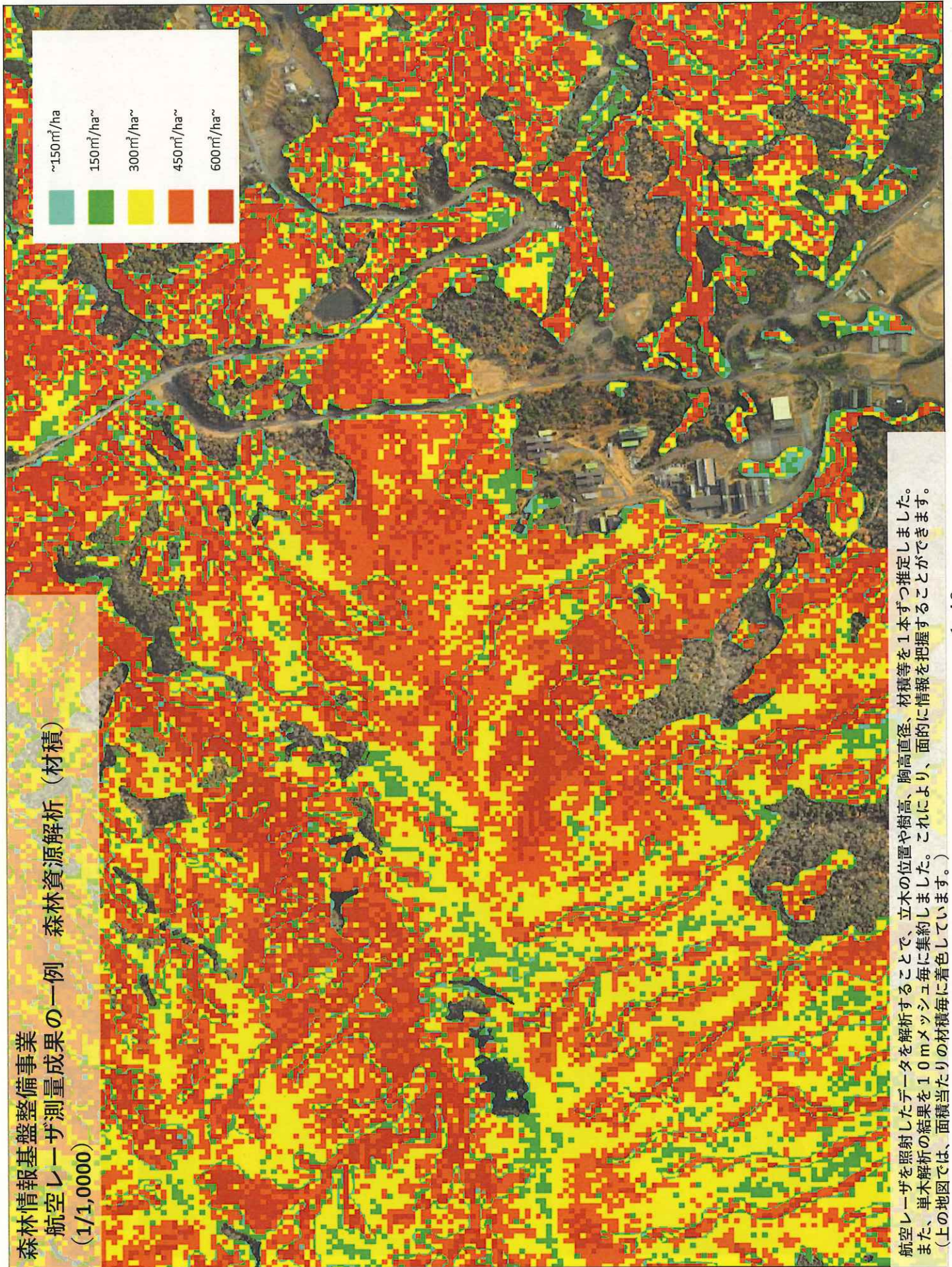
森林情報基盤整備事業
航空レーザー測量成果の一例 立体地形表現図 (1/1,000)



飛行機からレーザー光を照射し、反射した位置を算出することで、詳細に地形を計測し、立体地形表現図を作成しました。現行の空中写真から作成した等高線図(右)では微地形は読み取ることができませんが、航空レーザー測量で作成した立体地形表現図(左)では、地形の崩れや浸食状況などを読み取ることができます。

従来、現地に行かなければわからなかった情報が事前に机上でわかるため、危険で重労働であった現地調査を省力・軽減することができま

森林情報基盤整備事業
航空レーザー測量成果の一例 森林資源解析 (材積)
(1/1,0000)



航空レーザーを照射したデータを解析することで、立木の位置や樹高、胸高直径、材積等を1本ずつ推定しました。また、単木解析の結果を10mメッシュ毎に集約しました。これにより、面的に情報を把握することができます。(上の地図では、面積当たりの材積毎に着色しています。)

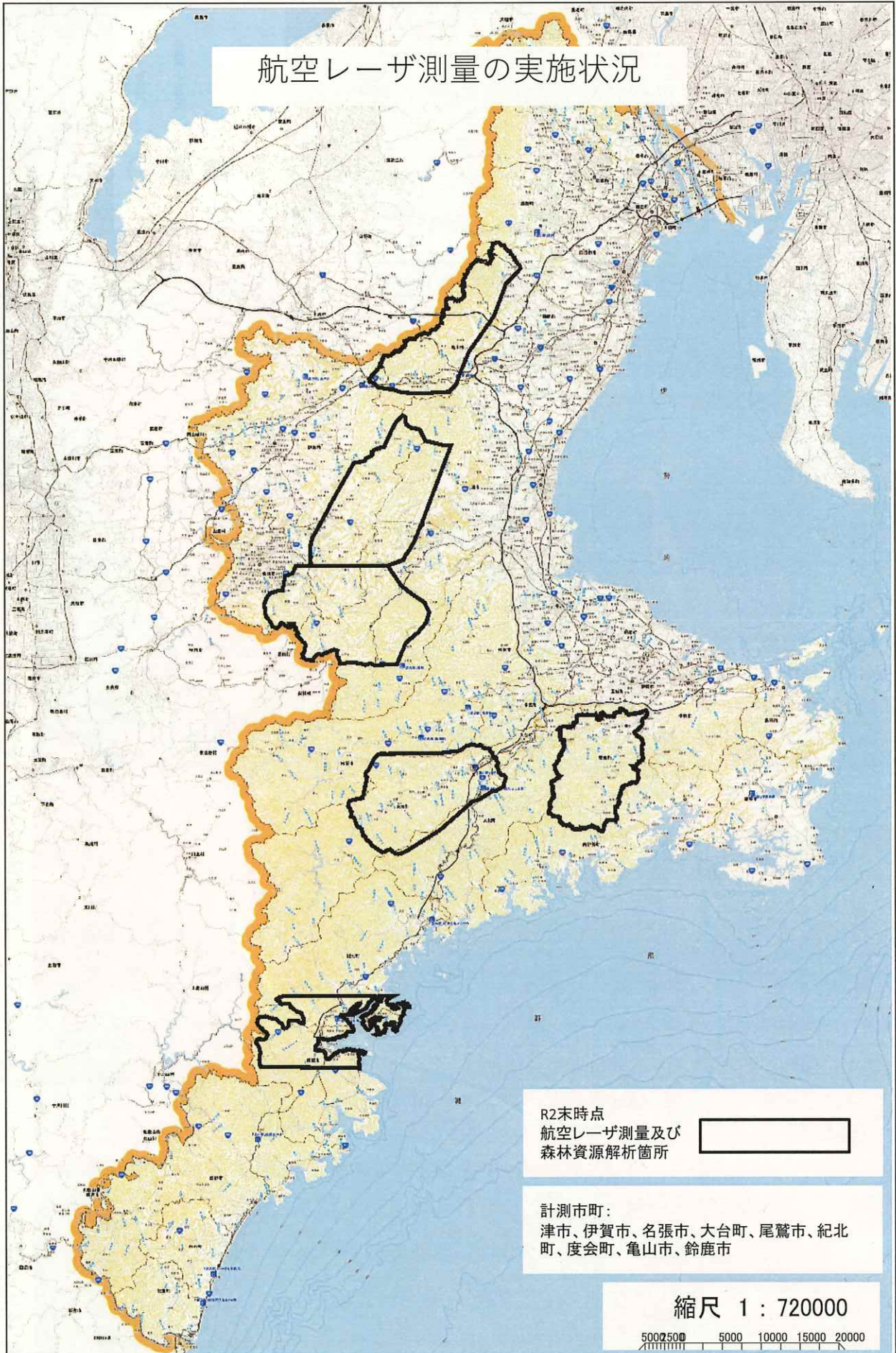
森林情報基盤整備事業

航空レーザー測量成果の組み合わせ例 単木解析 (胸高直径) + 立体地形表現図 (1/800)



これらの成果を単独あるいは組み合わせで活用することで、森林整備を進める林分を抽出することができます。
(例) 立体地形表現図から溪流沿いの箇所を探索し、胸高直径が小さく流木化しやすい立木を可視化しました。

航空レーザ測量の実施状況



R2末時点
航空レーザ測量及び
森林資源解析箇所



計測市町：
津市、伊賀市、名張市、大台町、尾鷲市、紀北町、度会町、亀山市、鈴鹿市

縮尺 1 : 720000

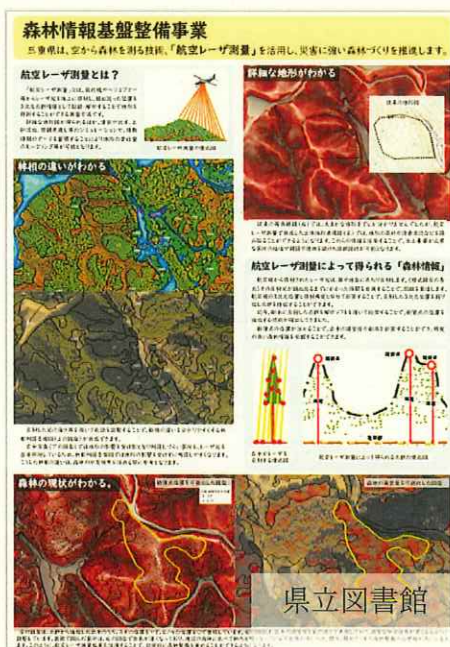
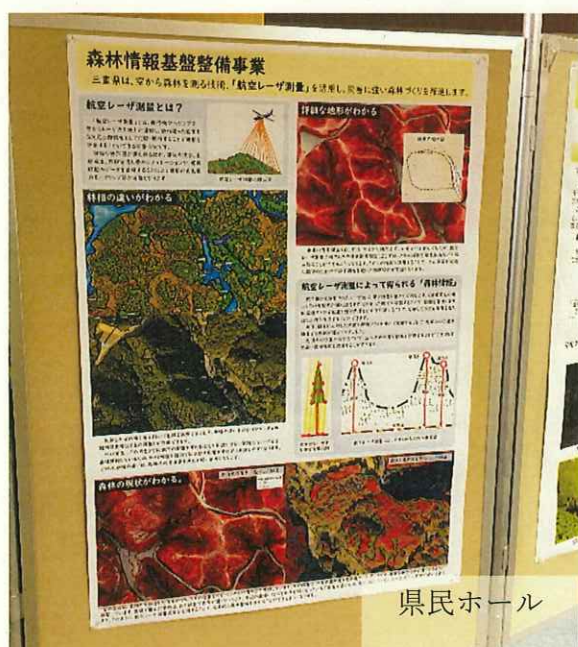
500 1000 1500 2000

森林情報基盤整備事業の情報発信状況について

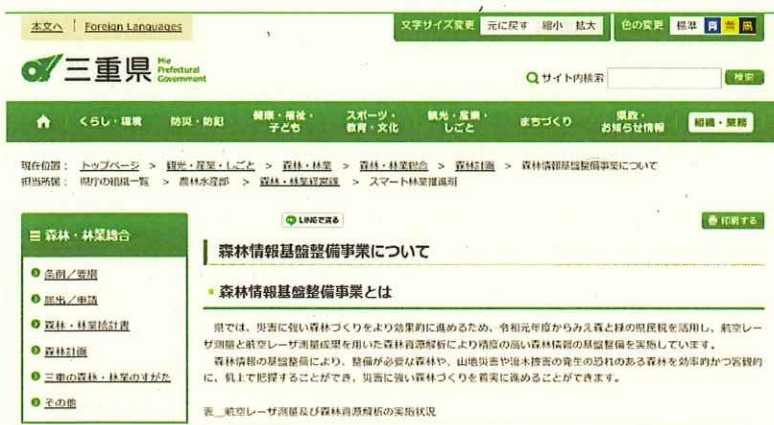
1 みえ森林・林業アカデミーでの講義



2 本庁舎1階 県民ホールや県立図書館での展示



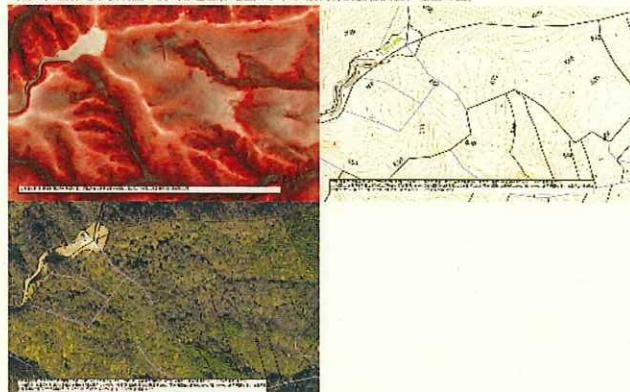
3 三重県ホームページへの掲載



■ 航空レーザ測量による詳細な地形データの取得

航空レーザ測量とは、飛行機やヘリコプター等からレーザ光を地上に照射し、地形を測る手法のことです。レーザ光は地表まで到達するため、従来の空中写真測量よりも詳細な地形データの取得が可能です。取得した地形データから傾斜や標高等を割り出し、地図上に表現することで、誰でも容易に地形を把握することができます。以下に、航空レーザ測量による2種類の立体地形表現図(左上)と、それぞれ同一箇所を実施された空中写真測量による等高線地図(右)と空中写真(下)を掲載しました。

(例1) 立体地形表現図の例(赤色立体地図: アジア航測株式会社調査、左上の図)



森を育む人づくりサポート体制整備事業

令和3年5月末現在

1. 事業の目的

「県民全体で森林を支える社会づくり」に資する取組として「森を育む人づくり」を進めるため、活動の基盤となる指導者の一定水準の知識・技術の習得を目指した育成を行うとともに、森林教育や、森づくり活動に取り組みやすい環境を整備し、活動にかかるコーディネートや相談対応、情報収集・発信、普及啓発、教材の提供、道具の貸出等を行い地域や学校等で行われる当該取組を支援します。

2. 事業の内容

(1) みえ森づくりサポートセンターの運営

地域で行う森林教育や森づくり活動の促進を図るため、総合窓口として津市白山町の林業研究所内に設置した「みえ森づくりサポートセンター」を運営しました。

①相談対応、情報発信

市町や学校、森林教育指導者（森のせんせい）等からの森林教育や森づくり活動に関する相談に随時対応し、活動のコーディネートや森林教育に関する情報収集、普及啓発を行いました。

また、ホームページ、SNS等で指導者養成講座、森の学校等の開催案内や、講座、出前授業、イベント等の実施状況を発信しました。

内容	件数	調整・連携の相手
森林教育に関する相談対応	1883	県・市町 879、学校等 319、森のせんせい 382、その他 303
森づくり活動に関する相談対応	51	県・市町 4、森づくり活動団体 20、森のせんせい 17、その他 10
森林教育に関する情報の収集及び発信		・森林づくりニュース発行（年4回） ・メールマガジン発行（月1回） ・ホームページ運営、Facebook、Instagramによる発信

②指導者の育成

学校や地域での課題を踏まえ、森林教育の取組が幅広く推進されるよう「地域講座」を6回、指導者（森のせんせい）のスキルアップを目的とした「森のせんせいスキルアップ講座」を3回実施し、指導者の育成を図りました。

指導者養成講座実績

開催日	講座名	開催場所	募集人数	受講人数
地域講座				
令和2年 7月11日(土)	【四日市地域】 森林環境教育指導者養成講座 (アクティブラーニング)	三重県四日市庁舎 (四日市市)	15名	20名
令和2年 8月29日(土)	【伊賀地域】 木育指導者初級研修	三重県上野森林公園 (伊賀市)	10名	10名
令和2年 11月7日(土) 11月29日(日)	【尾鷲・熊野地域】 森林環境教育指導者養成講座 (技術編)	紀南ツアーデザイン センター、松本峠付近 (熊野市)	10名	6名
令和2年 12月19日(土)	【尾鷲・熊野地域】 クップ普及指導員養成講習会	三重県立熊野古道セ ンター(尾鷲市)	20名	10名
令和2年 12月12日(土) 令和3年 3月13日(土)	【伊勢志摩地域】 森林環境教育指導者養成講座 (田丸城跡の森のスペシャリ ストになろう!秋編・春編)	玉城町立田丸保育所、 田丸城跡(玉城町)	各20名	秋編 21名 春編 20名
令和3年 2月23日 (火・祝)	【津地域】 森林環境教育指導者養成講座 (知識編)	三重県林業研究所 (津市)	12名	18名
森のせんせいスキルアップ講座				
令和2年 9月12日(土) 9月13日(日)	幼児を対象としたインタープリ テーション	天満荘(尾鷲市)	20名	10名
令和2年 9月19日(土)	木育指導者中級研修	三重県生涯学習セン ター(津市)	15名	15名
令和2年 11月7日(土) 11月8日(日)	LEAF ローカルインストラクタ ー研修	松阪市森林公園 (松阪市)	10名	7名



森林環境教育指導者養成講座(技術編)
自然観察を通じ自然と人を結ぶインタープリ
テーションの手法を学習、実践。



LEAF ローカルインストラクター研修
多層的に森林の役割を学ぶ LEAF (Learning
About Forests) のプログラムを学習、実践。

併せて、指導者実践の場として、「森の学校」を開催し、森林や木について楽しく学べることをテーマに、森のせんせいが森林散策や木工体験等のイベントを実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い市町主催のイベントが中止となったため、県施設や大型商業施設での開催を中心に22回実施しました。

また、感染症拡大の状況下でも森の学校を実施する試みとして、インターネットを通じて参加者が森林や木に関わる話を聞きながら木工体験を行う「森の学校オンライン教室」を開催しました（22回のうちの2回）。



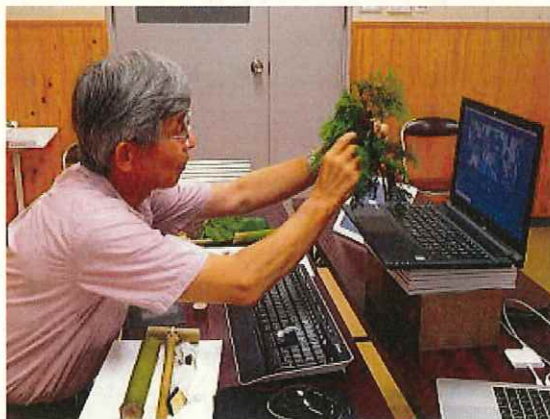
森の学校 in イオンモール東員
（組子のコースターづくり）

森のせんせいと参加者の間にアクリル板を設置する、1体験ごとに机や道具を消毒する等の感染症対策を行い実施。



森の学校 in MieMu
（ミュージアムフィールドの
自然観察会、昆虫観察）

三重県総合博物館のフィールドで植物や昆虫の観察を、マスク着用による熱中症予防のため、水分補給や木陰での休憩をはさみながら実施。



第1回森の学校オンライン教室
「竹で水てっぽうを作ろう」

参加者に材料等を事前に送付し、Zoomを通じて森のせんせいが参加者に説明しながら竹を使った水てっぽうを作成。

森の学校実績

	開催日	開催場所	内容	参加人数
1	令和2年 7月23日(木・祝)	オンライン (Zoom)	竹で水てっぽうを作ろう	4名
2	令和2年 8月1日(土)	イオンモール東員 (東員町)	組子のコースターづくり	31名
3			貝がらちょうちよのブローチづくり	21名
4	令和2年 8月8日(土)	三重県総合博物館 (津市)	ミュージアムフィールドの自然観察会	15名
5			木や葉を使った工作	11名
6			小鳥のさえずりができる木の笛づくり	18名
7	令和2年 8月9日(日)	三重県総合博物館 (津市)	ミュージアムフィールドの自然観察会、昆虫観察	17名
8			貝殻と木の実を使ったフォトフレーム	33名
9			木のスプーンづくり	17名
10	令和2年 8月10日(月・祝)	三重県総合博物館 (津市)	ミュージアムフィールドの自然観察会、昆虫観察	27名
11			木のコースター、メダルづくり	26名
12	令和2年 8月30日(日)	イオンタウン伊勢ララパーク(伊勢市)	組子のコースターづくり	44名
13	令和2年 9月5日(土)	イオンタウン伊勢ララパーク(伊勢市)	県産材の小物入れ	30名
14	令和2年 10月3日(土)	イオンモール明和 (明和町)	カップづくり	31名
15	令和2年 10月4日(日)	イオンモール明和 (明和町)	メッセージユニット作り	55名
16	令和2年 11月14日(土)	オンライン (Zoom)	三重県産の木でマイ箸づくり	10名
17	令和2年 12月13日(日)	四日市市三浜文化会館 (四日市市)	木のスプーンづくり	31名
18	令和3年 1月16日(土)	キャンプ inn 海山 (紀北町)	炬火受皿組み立てと植樹	14名
19	令和3年 1月24日(日)	かぶとの森テラス (亀山市)	炬火受皿組み立てと火おこし体験	33名
20	令和3年 2月20日(土)	四日市市塩浜児童館 (四日市市)	森のたからばこ作り	26名
21	令和3年 3月6日(土)	三重県立みえこどもの城 (松阪市)	自然観察会	34名
22	令和3年 3月6日(土)	三重県立みえこどもの城 (松阪市)	県産スギのイスを作ろう	16名

③ 学校教職員を対象とした研修の実施

学校での森林教育の取組促進を図るため、県教育委員会事務局との共催により学校教職員を対象とした研修を行いました。

開催日	講座名	開催場所	定員	受講人数
令和2年 10月30日(金)	学校教職員森林環境教育研修	三重県総合博物館	20名	6名

④森のせんせい等のネットワークの構築

森のせんせい等のネットワーク構築のため、北勢地域、中南勢・伊賀地域、尾鷲・熊野地域の3地域において座談会を開催しました。

地域	開催日	開催場所	参加人数
北勢地域	令和2年3月17日(水)	三重県四日市庁舎	4名
中南勢・伊賀地域	令和2年3月15日(日)	三重県林業研究所	9名
尾鷲・熊野地域	令和2年3月14日(日)	熊野古道センター	5名

⑤出前授業

市町、学校、保育所等における取組を支援するため、学校等からの要望に応じて森林教育の指導者の紹介やプログラム作成等を行い、出前授業を実施しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、不特定多数の参加が見込まれるミエトイ・キャラバン等のイベント実施が困難な中、参加者を特定できる出前授業を充実させてより多くの子どもたちに森林教育の機会を提供できるよう工夫しました。



四日市市立内部東小学校

整備されていなかった学校林を再活用するきっかけ作りとして、危険な植物や植生の遷移の話をしたうえで、学校林の自然観察等を行った。



津市立西郊中学校

森林のはたらきと木材利用の話をしたうえで、間伐材を使った箸作りを実施。

出前授業実績

	実施日	学校名	内容
1	令和2年 6月17日(水)	四日市市立内部東小学校	森と樹木の話、学校林散策体験
2	令和2年 6月25日(木)	四日市市立中央小学校	校庭の樹木観察、森と樹木の話
3	令和2年 7月3日(金)	津市立西郊中学校	森林・林業の話、箸づくり
4	令和2年 8月26日(水)	津市立村主小学校	森林・林業、木材の話 箸づくり
5	令和2年 9月7日(月)	津市立橋北中学校	森林・林業、建築の話 間伐材のミニ机づくり
6	令和2年 10月15日(木)	伊勢市立上野小学校	森林・林業の話、木工作
7	令和2年 11月10日(火)	伊勢市立佐八小学校	樹木観察、葉っぱ工作
8	令和2年 11月12日(木)	多気町立外城田小学校	水源林の話、木工作
9	令和2年 11月25日(水)	南伊勢町立南勢小学校	森林と木の話、木工作
10	令和2年 11月26日(木)	津市立大里小学校	森林・林業の話、箸づくり
11	令和2年 11月30日(月)	多気町立佐奈小学校	森林・林業の話、箸づくり
12	令和2年 12月14日(月)	四日市市立橋北中学校	校庭の樹木観察、樹名板づくり
13	令和3年 1月19日(火)	桑名市立修徳小学校	森林・林業の話 ペーパースタンドづくり
14	令和3年 2月4日(木)	鈴鹿市立庄内小学校	森林・林業の話、箸づくり
15	令和3年 2月19日(金)	三重大学教育学部附属 小学校	森林・林業の話、木工作
16	令和3年 2月24日(水)	三重大学教育学部附属 小学校	木材・木材利用の話

⑥森林環境教育・木育活動のコーディネーター

森林教育活動を希望する市町、学校、保育所等からの要望に応じ、指導者の紹介やプログラム構築等のコーディネーターを行いました。

森林教育活動コーディネーター実績

実施日	学校名	内容
令和2年 11月4日(水)	玉城町立下外城田小学校	箸づくり

令和2年 11月9日(月)	玉城町立外城田小学校	クップ体験
令和2年 11月9日(月)	玉城町立有田小学校	コースターづくり
令和2年 11月11日(水) 11月17日(火)	名張市立幼稚園・保育園 (6園)	森林や木の話
令和2年 11月18日(水)	伊勢市立上野小学校	森林・林業の話 スギのイスづくり
令和2年 11月26日(木)	伊勢市立宮山小学校	森林・林業の話 ヒノキの小箱づくり
令和3年 1月26日(火)	桑名市立光風小学校	森林の話 木工作

⑦森林教育活動事例集

学校等で森林教育活動を行う際の参考資料として、県内で実施された学校等での森林教育活動を取りまとめた事例集を作成し(1100部)、県内の小中学校及び関係機関へ配布しました。

また、その事例集を三重県及びみえ森づくりサポートセンターのホームページに掲載しました。



⑧みえの森フォトコンテストの開催

写真撮影を通して森林や木に親しみ、その大切さを知ってもらうことを目的に、「三重の森林」をテーマとした写真コンテスト及び写真教室を開催しました。

第7回みえの森フォトコンテストでは県内の18歳以下を対象に、小学生以下の部と中学生以上の部の2部に分け、森林や木と人の関わり等を撮影した写真を募集し、第6回を上回る201点の応募がありました。

第6回及び第7回みえの森フォトコンテスト入賞作品は県民ホールや大型商業施設等で展示しました。

開催日	イベント名	開催場所	対象者	募集人数	参加人数
令和2年 8月2日(日)	こども森の写真教室	三重県林業研究所(津市)	小中学生とその家族	7組15名	5組11名
令和2年 6月1日(月)～ 10月11日(日)	第7回みえの森フォトコンテスト	—	県内18歳以下	—	71名201点

(参考)これまでの「みえの森フォトコンテスト」応募状況

年度		応募数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
応募者数	小学生以下の部		10	18	14	26	27
	中学生以上の部		9	45	37	39	44
	合計		19	63	51	65	71
応募作品数	小学生以下の部		63	45	40	58	75
	中学生以上の部		28	53	60	86	126
	合計		91	98	100	144	201

みえの森フォトコンテスト入賞作品展示実績

	展示期間	展示場所
1	令和2年4月27日(月)～5月15日(金)	三重県庁1階県民ホール(津市)
2	令和2年5月24日(日)～6月1日(月)	三重県立熊野古道センター(尾鷲市)
3	令和2年8月1日(土)～8月11日(火)	イオンモール東員(東員町)
4	令和2年8月24日(月)～9月5日(土)	イオンタウン伊勢ララパーク(伊勢市)
5	令和2年9月28日(月)～10月4日(日)	イオンモール明和(明和町)
6	令和2年12月3日(木)～12月11日(金)	みえこどもの城(松阪市)
7	令和2年12月13日(日)	四日市市三浜文化会館(四日市市)



第7回みえの森フォトコンテスト
小学生以下の部 最優秀賞作品
「森のかみさま」



第7回みえの森フォトコンテスト
中学生以上の部 最優秀賞作品
「足元の世界」



(上) みえの森フォトコンテスト入賞作品展示のようす

(右) こども森の写真教室チラシ
 小中学生とその家族を対象に、森を散策しながら、プロの写真家のレクチャーを受けて写真を撮影する教室を開催。



⑨三重県で作られている木のおもちゃを体験できる「ミエトイ・キャラバン」の実施

三重県で作られている木製遊具・玩具を「ミエトイ」と位置付け、それらを体験し、木の良さに触れてもらう場として「ミエトイ・キャラバン」を実施しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、大型の木製遊具の設置を中止し、定期的に消毒のできる、積み木やけん玉など小型の木製玩具を中心に展示、体験を6回行いました。



ミエトイ・キャラバンの様子（イオンモール明和）

ミエトイ・キャラバン実績

	開催日	開催場所	参加人数
1	令和2年 8月29日(土)	イオンタウン伊勢ララパーク (伊勢市)	数十名
2	令和2年 9月5日(土)	イオンタウン伊勢ララパーク (伊勢市)	数十名
3	令和2年 9月29日(火)	三重県林業研究所 (津市)	74名
4	令和2年 10月3日(土)	イオンモール明和 (明和町)	約100名
5	令和2年 10月4日(日)	イオンモール明和 (明和町)	約100名
6	令和2年 11月16日(月)	三重県林業研究所 (津市)	18名

⑩ 物品の貸出

森のせんせい、森づくり活動団体、県市町および教育委員会等を対象に森林教育活動や森づくり活動に必要な物品等の貸出を25件行いました。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、大型木製遊具の貸出は行いませんでした。

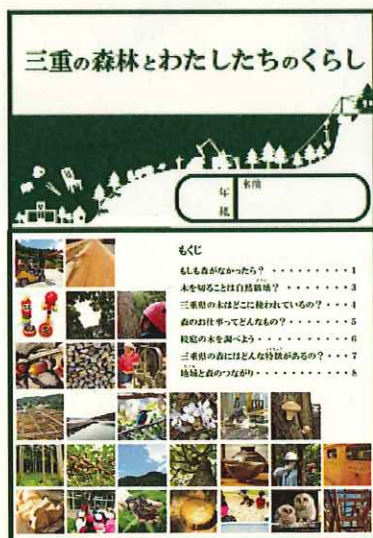
(貸出物品)

- ・森づくり活動に必要な資器材(ヘルメット、チャップス、丸太切り台等)
- ・森林教育用教材(森のはたらきパネル、クップ等)

(2) 森林教育の教材の提供

小学校での活用が可能な教材として、小学5年生の社会科教科書に対応した副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」を県内小学5年生に配布しました。また、三重県庁舎や森林公園等にも配架しました。

「三重の森林とわたしたちの暮らし」では、わたしたちの暮らしと森林との関わりについて理解を深めていただくため、「森のはたらき」や「森林資源の循環利用」等の説明とともに、県内各地域の森林に関する事例を紹介しています。



(3) みえ子ども森の学びサミットの開催

森林教育の推進のため、森林や木のことを楽しみながら学んでいただくイベント「みえ子ども森の学びサミット」を松阪市にある三重県立みえこどもの城で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となりました。

3. 今後の展開

県では、これまで進めてきた森林環境教育・木育を、明確な目的意識の下、より効果的に実施していけるよう、取組の方向性を改めて整理した「みえ森林教育ビジョン」を令和2年10月に策定しました。今後は、ビジョンで定めた目標とする社会「森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会」の実現に向け、引き続き、様々な取組を実施するとともに、森林教育プログラムの作成など、新たな取組を展開していきます。

森林環境教育・木育拠点施設整備事業

令和3年5月末時点

1. 事業の目的

本事業は、三重の森林づくり基本計画2019の重点プロジェクトの1つである「森林環境教育・木育の輪拡大プロジェクト」に基づき、また、昨年10月に策定した「みえ森林教育ビジョン」の県の取組方向に基づき、県民の皆さんの森林教育の機会を拡大することを目的に、活動フィールドや施設の整備等を進めます。

2. 事業計画

みえ森林教育の拠点施設を整備するため、三重県民の森（菟野町）の自然学習展示館において、令和元年度に行った設計業務に基づき、令和2年度から令和3年度にかけて改修工事を進めます。

今回工事では、主に未就学児とその保護者を対象に、木にふれ、木の良さを感じてもらうため、室内の木質化や常設型の木製遊具の設置等を行います。

3. 改修内容

自然学習展示館の展示室・研修室を一体化し、全面的に三重県産の木材を使用し、靴を脱いで遊べる木の床のスペースや、すべり台等の木製遊具の設置、木製什器や木のおもちゃの配備、森や木に関する絵本の配架等を行います。

また、新たに授乳室やおむつ替えスペース、トイレ個室にベビーチェアを設けるとともに、利用者アンケートで要望の多いトイレの洋式化を行うなど、全ての利用者が利用しやすい施設とします。

なお、既存の標本やはく製等の展示、図書閲覧等の機能についても焦点を絞りながら一部を継続して設置します。



改修前の自然学習展



内装解体工



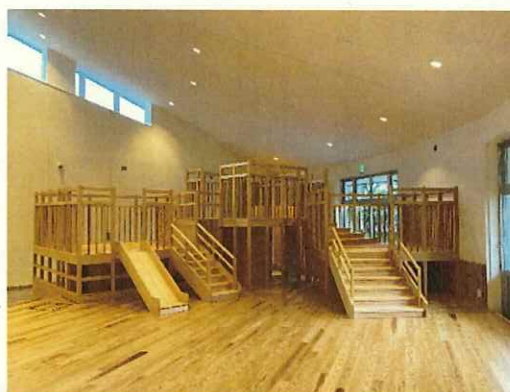
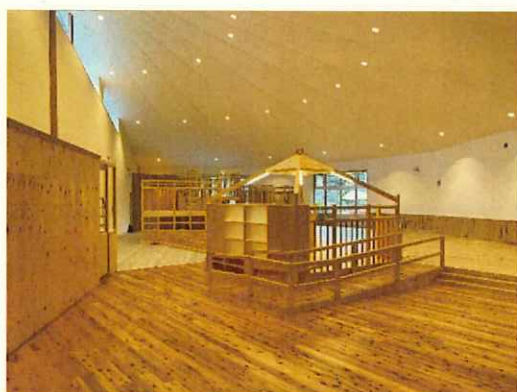
大型木製遊具建

4. 進捗状況

令和元年度は、県立伊勢工業高等学校建築科の協力のもとに改修工事のデザイン図面（基本設計）を作成し、それをもとに建築設計業務委託を実施しました。

令和2年度には、改修工事にかかるⅠ期工事を行い、室内の木質化や木製遊具の設置、備品の購入等を進めました。

令和3年度においては、令和2年度末にⅡ期工事としてトイレや空調等の設備関係の工事を発注しており、6～7月に工事完成、7～8月に開館の予定となっています。



内装及び大型木製遊

【Ⅰ期工事】

工事名：三重県民の森自然学習展示館改修工事(Ⅰ)

工期：令和2年8月11日から令和3年1月7日（150日間）

請負金額：41,509,600円（内税 3,773,600円）

概要：内部改修工事（手加工による大型木製遊具を含む）及びそれに係る建築工事、電気設備工事、機械設備工事一式

床の木質化：222.8（m²）

使用県産材量：11.7（m³）

【Ⅱ期工事】

工事名：三重県民の森自然学習展示館改修工事（Ⅱ）

工期：令和3年3月31日 から 令和3年6月28日まで（90日間）

請負金額：20,310,400円（内税1,846,400円）

概要：内部改修工事及びそれに係る建築工事、電気設備工事、
機械設備工事一式

使用県産材量：0.56（m³）

【導入した主な物品】

- ・ボールプール（もりぼーる）用の木の玉 1式
- ・ボールプール用の木柵 1基
- ・木製玩具 1式
- ・木製かるた 4セット
- ・木製積み木 7セット
- ・絵本 15冊
- ・標本箱 13器
- ・木製テーブル 3台
- ・木製イス 12脚
- ・小型物置 2基

5. 事業の広報

令和2年12月5日（土）開催の「みえ子ども森の学びサミット」において、当事業の概要説明及び伊勢工業高等学校建築科の生徒が作成した完成イメージ模型を展示する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止になりました。

なお、みえ森と緑の県民税事業の取組を紹介するため、令和2年12月8日（火）から令和3年1月29日（金）まで三重県立図書館で、令和3年1月12日（火）から1月15日（金）まで三重県庁県民ホールで実施する県民税事業パネル展示にて、本事業の取組を紹介しました。



PR展示（県立図書館）



PR展示（県庁県民ホール）

森林とふれあう自然公園環境整備事業

令和3年5月末現在

1. 事業の目的

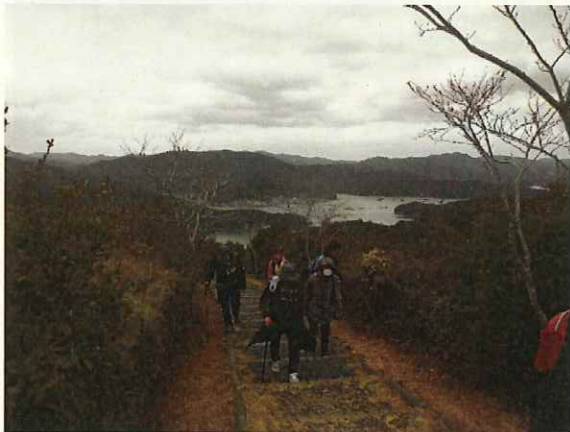
県民が森林や緑と親しむ機会を創生するため、地域のNPOや団体、市町等と連携して、身近な自然公園の園地や歩道等を活用した森林教育イベントやガイドツアー等の取組みを推進するとともに、活動のフィールドとなる園地や歩道等の施設の安全確認や改修などを行う。

2. 令和2年度事業実績

1) 森林にふれあう活動の推進

県民が森林とふれあう機会を増大するため、県内にある自然公園内の園地や歩道、森林公園を活用して自然観察ツアーや森林教育イベントを行い、豊かな生態系の観察や森林のはたらきを伝えると共に、一人ひとりが健やかな森林を次世代に引き継ぐ大切さを感じることができる「県民全体で森林を支える社会づくり」のための自然教育と施設整備を行いました。

◆自然公園・自然歩道での取組状況



自然観察ツアー
ハイキングの状況



自然観察ツアー
ハイキングの状況



自然観察ツアー
ツアーガイドからの説明状況



自然観察ツアー
ツアーガイドからの説明状況

◆大杉谷登山歩道での取組状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
ガイドからの説明状況（森林教育）



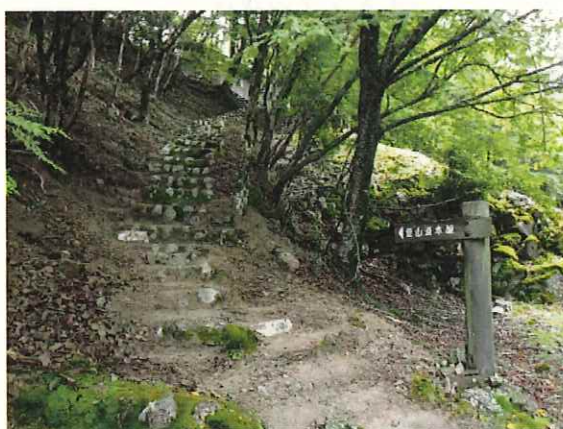
自然観察ツアー&ボランティア整備
ガイドからの説明状況（森林教育）



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の補修作業状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の補修作業状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
歩道補修（整備後）



自然観察ツアー&ボランティア整備
歩道補修（整備後）



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者によるゴミ拾い作業状況
(自然保護活動)



自然観察ツアー&ボランティア整備
集められたゴミ

◆ 森林公園での取組状況
○ 三重県民の森



森林教育イベント「親子で大工体験」
参加者による木製スロープ作成状況



森林教育イベント「親子で大工体験」
同時に行われたヒノキの皮むき体験状況



森林教育イベント「親子で大工体験」
老朽化した木製スロープ



森林教育イベント「親子で大工体験」
リニューアルされた木製スロープ

○上野森林公園



森林教育イベント「親子で大工体験」
参加者によるウッドデッキ作成状況



森林教育イベント「親子で大工体験」
同時に行われたヒノキの皮むき体験状況



森林教育イベント「親子で大工体験」
老朽化したウッドデッキ



森林教育イベント「親子で大工体験」
リニューアルされたウッドデッキ

森林教育実績

自然公園名	自然公園施設名	実施場所	実施日	参加人数	内容
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	10月4日	16名	自然観察ツアー（菅島ハイキング）と魚釣り教室
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び園地	志摩市	11月15日	14名	自然観察ツアー（御座金毘羅山ハイキング）と英虞湾遊覧
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び園地	南伊勢町	11月29日	11名	自然観察ツアー（五カ所湾ハイキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	12月5日	9名	自然観察ツアー（菅島ハイキング）と海女さんふれあい体験
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び園地	伊勢市	1月17日	14名	自然観察ツアー（朝熊山登山）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	伊勢市	2月11日	11名	自然観察ツアー（二見浦ハイキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び園地	南伊勢町	2月28日	19名	自然観察ツアー（五カ所湾ハイキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び園地	志摩市	3月7日	16名	自然観察ツアー（横山ハイキング）
吉野熊野国立公園	大杉谷登山歩道	大台町	9月12、13日	9名	自然観察ツアー（トレッキング）とボランティア整備（歩道整備）
			9月26、27日	12名	自然観察ツアー（トレッキング）とボランティア整備（歩道整備、ゴミ拾い）
自然公園外	三重県民の森	菟野町	8月23日	20名	森林教育イベント「親子で大工体験」（木製スロープ作成）
自然公園外	上野森林公園	伊賀市	9月20日	25名	森林教育イベント「親子で大工体験」（ウッドデッキ作成）

3. 『みえ森と緑の県民税』による取り組みであることの周知方法

- ・自然観察ツアーや森林教育イベント（以下、イベントという。）の募集の際のホームページやチラシには、『みえ森と緑の県民税』を活用していることが分かるように記載し参加者に周知を行っています。
- ・イベントの参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』のパンフレットなどの配布を行い、開催時の最初に参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』の目的や認知度確認、並びに参加しているイベントが『みえ森と緑の県民税』の取り組みのひとつであることの周知を行っています。
- ・イベント開催中は、『みえ森と緑の県民税』によるイベントであることが分かるように『のぼり旗』を設置し、イベント参加者以外の方々にもPRを行っています。
- ・施設整備の修繕が完了した箇所には、『みえ森と緑の県民税』により行われことが分かるようにロゴマークの焼印や看板を設置しています。また、今回リニューアルされた森林公園の施設については、県ホームページにイベントの状況や『みえ森と緑の県民税』を活用して取り組んだ事について情報発信を行っています。
- ・三重県立図書館や県民ホールで、事業の内容と取り組み状況についてPRを行っています。

◆ イベント開催募集チラシでの周知状況



イベント募集チラシでの周知状況
チラシにロゴマークなどを記載

◆イベント開催時に配布したパンフレット



◆イベント開催中での周知状況



イベント開催中での周知状況
「みえ森と緑の県民税」のぼり旗を設置

◆施設整備を行った箇所の周知状況



施設整備を行った箇所の周知状況
「みえ森と緑の県民税」ロゴマークや看板を設置



くらし・環境

防災・防犯

健康・福祉・
子どもスポーツ・
教育・文化観光・産業・
しごと

まちづくり

県政・
お知らせ情報

組織・関係

現在位置: [トップページ](#) > [くらし・環境](#) > [自然環境](#) > [自然公園](#) > [お知らせ](#) > 『みえ森と緑の県民税』を活用して、上野森林公園のウッドデッキがリニューアルしました
 担当所属: [県庁の組織一覧](#) > [農林水産部](#) > [みどり共生推進課](#) > [自然公園班](#)

自然公園

- お知らせ
- 三重の自然公園
- 国立公園海浜プロジェクト
- 長距離自然歩道
- 自然公園に関する法令
- 自然公園に関する計画
- 三重の美しい景色

LINEで見る

印刷する

『みえ森と緑の県民税』を活用して、上野森林公園のウッドデッキがリニューアルしました

三重県上野森林公園（平成10年7月開園）は、県民が自然と親しみ、やすらぎを得る場、自然への理解を深める場として活用することを目的に上野新都市「ゆめぼりす伊賀」の一部として、整備された施設です。

今回、みえ森と緑の県民税を活用して、ビジターコテージ「森のまなびや」とサブコテージ「かたらいの館」の老朽化したウッドデッキの修繕が完了しました。

この新しいウッドデッキの一部は、令和2年9月20日（日）に行われた『親子で大工体験～みんなで作ろう！！ウッドデッキ～』のイベントに参加された親子の皆様によって作られています。

イベントの当日は、大工さんに講師をしていただき、プロの技の演習や、ノコギリ・差し金（さしがね）などの道具の使い方やコツを教わりながら、親子で力を合わせて木材の加工を行い、ウッドデッキを完成していただきました。中には初めて大工道具を使う参加者もおられ、切り口が斜めになったり、打ち込んだ釘が途中で曲がってしまうなど、苦労してみえましたが何回もチャレンジをするうちに、徐々に上達されていきました。

施設整備を行った箇所の周知状況

三重県ホームページへの掲載

◆ 三重県立図書館での周知状況



事業の取り組み内容の周知状況

三重県立図書館

◆ 県民ホールでの周知状況



事業の取り組み内容の周知状況

県民ホール

4. 参加者の意見及び感想

- ・ウォーキングイベントや観察会をもっと開催してほしい。
- ・地元の歴史や文化、自然にふれられて非常に良かったです。
- ・ガイドさんに海や山、生き物について説明してもらい勉強になり良かったです。
- ・歩道整備に協力が出来て良かったです。また、参加したいです。
- ・意外にゴミが沢山落ちていた。自分たちもゴミを捨てないように気をつけたい。
- ・親子でウッドデッキを作ることが出来て良い記念になりました。
- ・最初はノコギリで木材を上手く切れなかったが、後半には上手に切れるようになりました。
- ・形がずっと残るものが作れて良かった。また、来た時に見たい。
- ・切ったばかりの生の木と木材との違いがよく分かった。
- ・ヒノキの皮をはじめて剥けて、子ども達も大人も興奮しました。

生物多様性推進事業

令和3年3月末現在

1. 事業の目的

県民全体で森林を支える社会づくりを進めるため、自然環境保全活動に取り組む団体を増やし、また、県民・事業者・行政などの様々な主体による自然環境保全活動や生物多様性の重要性に関する普及啓発に取り組むなど、生態系ネットワークの形成を促進し、森林生態系などの生物多様性の保全を図り、地域の身近な水や緑の環境づくりを進めます。

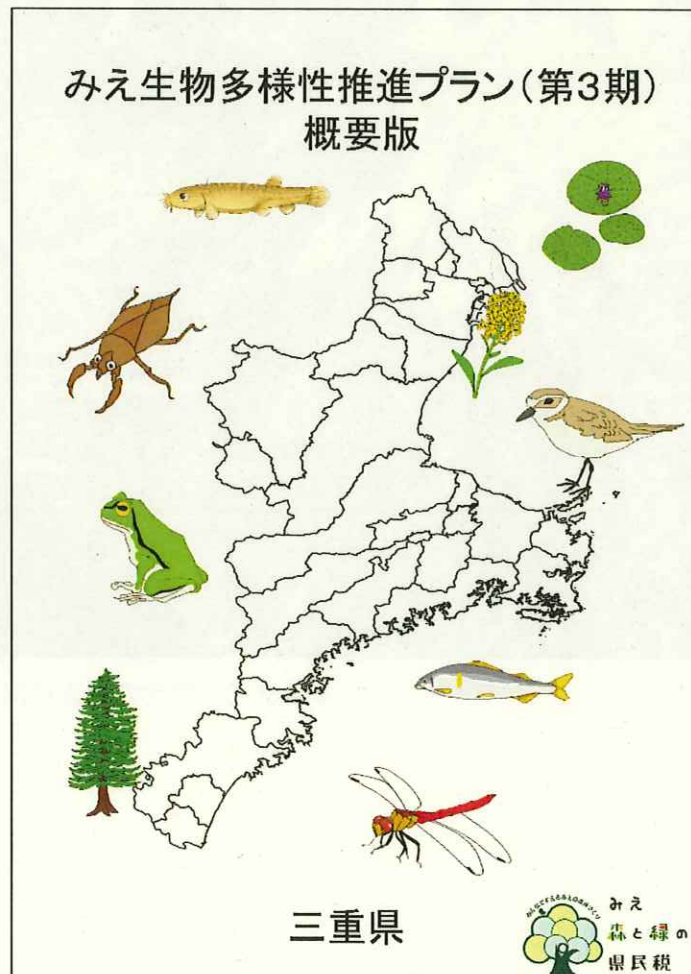
2. 令和2年度の実績

(1) 生物多様性の普及啓発

令和2年4月から三重県における生物多様性に関する基本的な方向性を示す「みえ生物多様性推進プラン」の第3期がスタートしたことから、一般の方々に向けて推進プランの内容をよりわかりやすく伝えるために概要版を作成し、自然環境関係施設への配架や県ホームページへの掲載を行いました。

また、推進プランに記載されている、多様な主体の協働による生物多様性の保全を実現するために、今年度は、県内で生物多様性保全に関する活動を行っている団体の活動内容を調査しました。(調査団体：109団体)

得られた情報を県ホームページで公開することで、団体の保全活動に関心のある方からのアプローチの機会を増やしました。



みえ生物多様性推進プラン (第3期) 概要版

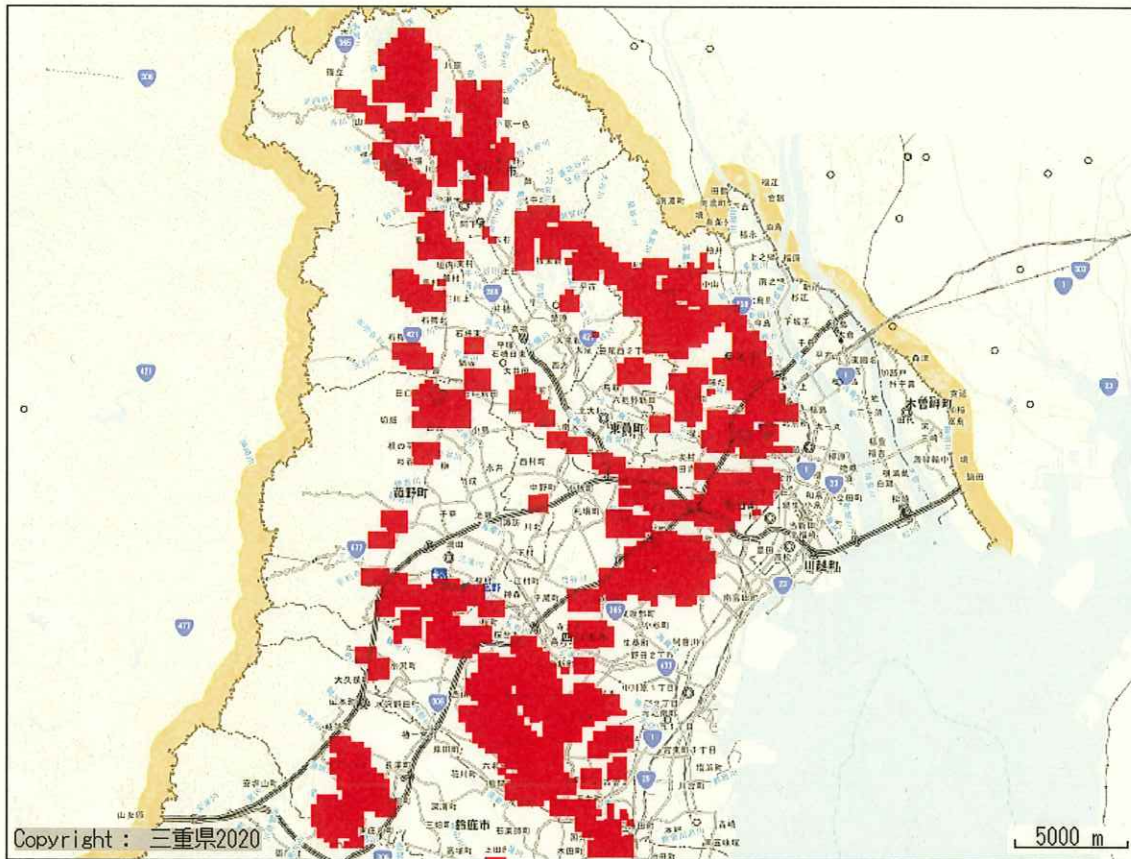
(2) 野生生物データ整理

生物多様性の保全に関する世界的な目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成の手段の一つとして、あらかじめ「生物多様性保全に関する特に重要なエリア」を示すことで、開発事業者に対して生態系への自主的な配慮を求める取組を行っています。令和元年度は希少野生動植物種主要生息地（ホットスポット）について地図化したところですが、令和2年度は三重県指定希少野生動植物種であるヒメタイコウチの生息可能性区域について調査と地図化を行いました。また、これらの地図を「三重県自然環境保全条例に基づく開発行為届出マニュアル」に掲載し、県ホームページから閲覧できるよう整備したことで、希少生物の生息地の保全を図りました。

また、生態系ネットワーク形成のための基礎的な情報を把握する目的で、県内の湿地、湖沼及び河川等にて、現況の確認及び野生鳥類（ガン類、カモ類、ハクチョウ類）の生息状況を調査しました。（県民税による委託分：168地点）



ヒメタイコウチの調査状況



ヒメタイコウチ生息可能性区域の地図 (抜粋)



野生鳥類（ガン類、カモ類、ハクチョウ類）の生息調査状況

みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業

令和3年5月末現在

1. 事業目的

子どもたちの健全な心身と森林・林業に関する職業意識の醸成を図ることを目的に、昨年度作成した、森林をフィールドとして子どもたちが友達と一緒に遊びながら主体的に学ぶためのプログラム「自然環境キャンプ」の検証を行うとともに、県内への展開を図ります。

2. 事業内容

昨年度作成した自然環境キャンププログラムの検証及び県内への展開を図るため、協議会を設置するとともに、当プログラムをモニター実施しました。

(1) 協議会の設置

自然環境キャンプの実施を検討している、または取組に賛同する、野外体験事業者や森林教育活動を行っている方等で構成する協議会を設置し、当プログラムに係る意見交換や検証を行いました。(協議会開催：4回、参加事業者等：8団体)

回数	開催日	開催場所	参加人数	内容
第1回	令和2年 10月7日(水)	三重県林業研究所 及びオンライン	13名	事業の概要説明、感染症対策について等
第2回	令和2年 12月9日(水)	オンライン	9名	第1、2回モニター実施結果の報告及び改善点等の検討
第3回	令和3年 2月9日(火)	オンライン	8名	第3回モニター実施結果の報告及び改善点等の検討
第4回	令和3年 3月9日(火)	オンライン	7名	第5、6回モニター実施結果報告及び改善点等の検討

(2) モニター実施

当プログラムの検証と県内での展開を目的に、試行的イベントを5回開催しました。イベントのスタッフは、昨年度当プログラムを作成したNPO法人が務め、協議会に参加している事業者等は、見学を行いました。参加者には、モニターとしてアンケートを実施しました。

回数	日程	開催場所	申込人数	参加人数
第 1 回	令和 2 年 10 月 17 日 (土) 10 月 18 日 (日) 10 月 24 日 (土) 10 月 25 日 (日)	三重県上野森林公園 (伊賀市)	37 名	10 名 [※]
第 2 回	令和 2 年 10 月 17 日 (土) 10 月 24 日 (日) 10 月 31 日 (土) 11 月 1 日 (日)	三重県民の森 (菟野町)	35 名	10 名
第 3 回	令和 3 年 1 月 16 日 (土) 1 月 23 日 (土) 1 月 30 日 (土) 1 月 31 日 (日)	三重県民の森 (菟野町)	24 名	10 名
第 4 回	令和 3 年 1 月 23 日 (土) 1 月 24 日 (日) 1 月 30 日 (土) 1 月 31 日 (日)	三重県上野森林公園 (伊賀市)	19 名	中止
第 5 回	令和 3 年 2 月 13 日 (土) 2 月 14 日 (日) 2 月 21 日 (日) 2 月 28 日 (日)	赤目四十八滝キャンプ場 (名張市)	25 名	10 名
第 6 回	令和 3 年 2 月 13 日 (土) 2 月 20 日 (土) 2 月 27 日 (土) 2 月 28 日 (日)	三重県民の森 (菟野町)	28 名	10 名

※第 1 回 4 日目は 1 名欠席し 9 名が参加。

三重県主催 子ども自然環境キャンプ

めざせ! たき火マスター!

Bonfire Master 4日間のプログラム

参加者募集

こんなことですよ!

1日目 たき火の燃え方を学ぶ
まずは火を焚くことにチャレンジしよう! うまくできるかな?

2日目 たき火の燃え方を学ぶ
まさに火をつけてたき火にチャレンジ! 燃やすものを集めることも必要だね。うまくいったらお菓子も焼いてみよう!

3日目と4日目 子どもたちがたき火料理にチャレンジ! お家料理でできるかな? 調理にはお家の人も食べてもらう!

開催日 10/17(土)、18(日)、24(土)、25(日) 雨天決行

場所 三重県上野森林公園 伊賀市下波生1

参加費 1,000円 参加人数 105名(50名前後希望)

対象者 小学3年生~4年生、4日間で参加できる人

申込期間 1月20日(金)~1月21日(土)

主催 三重県(小・中・高・特別支援学校) 伊賀市(伊賀市教育委員会)

お申込 お問合せ 三重県上野森林公園
TEL 0595-22-2150(受付 9:00~17:00)
FAX 0595-22-2151 Email useno@mie-mori.jp

小学3年生から6年生のみさんへ
みんな、たき火をしたことはあるかな? 昔の人は山で集めた小枝や木を使って、たき火をし、ご飯を作ったり、お湯をわかしたりしていました。火を焚くということは、生きていくためにも大切な「技」だったんだ。
このプログラムでは昔の人になった気分です。森から採った薪を集めて火を焚き、竹の筒でご飯を炊いたりお菓子を作ることも挑戦するよ。プログラムの最後には自分たちの力でたき火料理ができるようになってほしいな? さあ、たき火マスターを目指してチャレンジしよう!

この募集はみえと動の県民税を適用しています

めざせ! たき火マスター! キャンプのスケジュール

アンケート実施のお願い
本キャンプの開催は、大勢の参加者のおかげです。アンケートの結果を参考に、より良いキャンプにしたいと考えています。アンケートのお願いは、お申し込みの用紙に同封されています。

1日目 グループで協力して たき火の燃え方を学び、火起こしにチャレンジ!
10/17(土) 13:00 上野森林公園に集合、あいさつ、プログラムの説明、火起こしに挑戦! たき火ができたらお菓子を焼いてみよう
16:00 終了、解散

2日目 スタッフと一緒に たき火でごはんを作ろう!
10/18(日) 10:00 上野森林公園集合、あいさつ、スタッフと一緒にたき火でごはんを作ろう
13:00 昼食(自分たちで作ったみそ汁とおにぎり) 夢のたき火料理の計画を立てる
16:00 終了、解散

3日目 子どもたちの力で たき火料理にチャレンジ!
10/24(土) 10:00 上野森林公園集合、あいさつ、計画を立てて夢のたき火料理(夕食)を作ろう!
12:00 昼食 たき火料理の準備のつづき
15:00 夢のたき火で夕食(美味しくできたらかな?) さらに美味しいたき火料理を目指して再計画しよう
17:00 終了、解散

4日目 リベンジ! 夢のたき火料理作り!
10/25(日) 10:00 夢のたき火料理作り(朝食)スタート
13:00 夢のたき火料理で昼食 最後はキャンプの思い出を話そう 終わりのあいさつ プログラム終了
16:00 終了、解散

新型コロナウイルス感染症対策について
スタッフはマスクの着用をします。参加者の皆様もマスクの着用をお願いします。体調不良の方は参加を辞退してください。参加費は変更ありません。参加費は変更ありません。参加費は変更ありません。

※ 三重県主催 子ども自然環境キャンプ「めざせ! たき火マスター!」 参加申込書 ※
申込先: 三重県上野森林公園 FAX: 0595-22-2151 メール: useno@mie-mori.jp
※ 申込期間は10月20日(金)から10月21日(土)までです。その間に申込ください。メールでの申し込みもご記入の上、メールをご返信ください。
※ お申し込みから3週間前が申込完了の期限となります。お申込後、お申し込みの人数が不足する場合は、お申し込みの人数を減らす場合があります。

参加者氏名		ふりがな 姓 名	
学年	年生	性別	電話番号
住所	メール		

第1回自然環境キャンプチラシ



火おこしに挑戦

マッチを使って木の枝や落ち葉に火を点けることに挑戦。



お菓子を焼いてみよう

おこした火でマシュマロを焼いてみる。



森で薪あつめ

森の中から火を燃やす材料となる木の枝や落ち葉を集める。



火おこし

自分たちで集めた材料を使って火をおこし、料理ができるくらいの火を維持する。



竹の食器づくり

竹でご飯を炊く入れ物と汁物を煮る入れ物を作成。



夢のたき火料理を作ろう

自分たちが計画した「夢のたき火料理」づくりに子どもたちだけで挑戦。3日目に挑戦したあと、どうすればもっと理想のたき火料理に近づくかを話し合い、4日目にリベンジたき火料理に挑戦。



振り返り

頑張ったことや上手くいかなかったことを振り返り改善点をまとめる。

3. 事業実施結果

モニター実施でのアンケート等及び協議会での協議結果は次のとおりでした。

(1) 子ども（参加者）の今の気持ちシート

プログラムのモニター実施に参加した子どもたちには、プログラムの実施前後で気持ちがどのように変化したかを5段階で記入してもらいました。（集計数：参加者50名中47名）

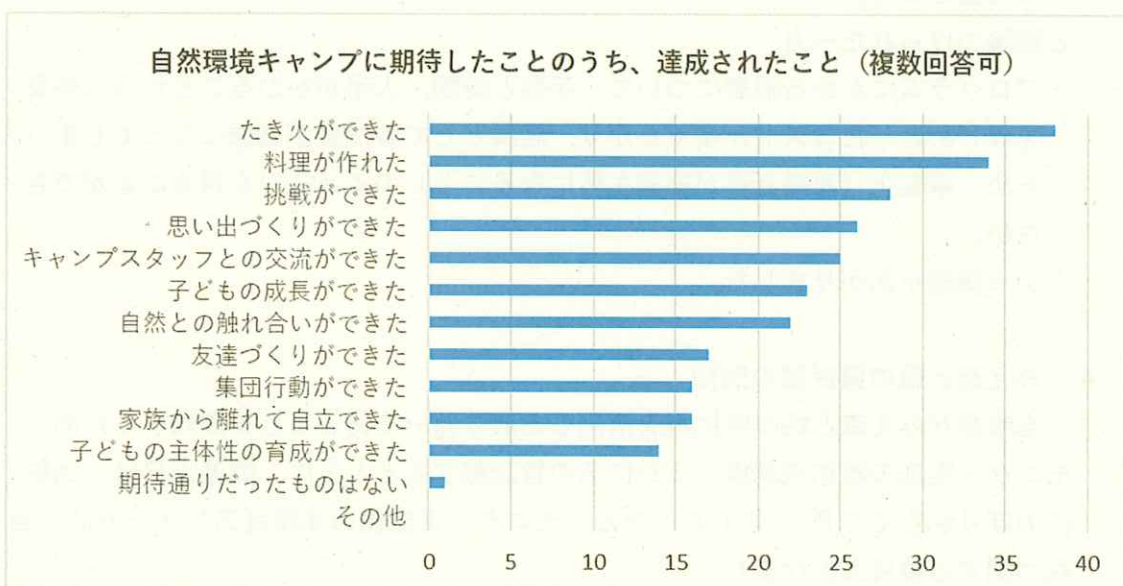
結果は、「自分で考えて行動することができる」「失敗してもまた挑戦できた」「計画したことを最後までやりとげることができる」「友だちに自分の意見を伝えたり、友だちの意見を聞くことができる」の4項目については、実施前後で参加者平均の評価ポイントが1ポイント以上上昇していました。「自然を大切にすることができる」が0.2ポイントの上昇と9項目の中で一番上昇幅が小さかったですが、実施前後でポイントが減少している項目はありませんでした。

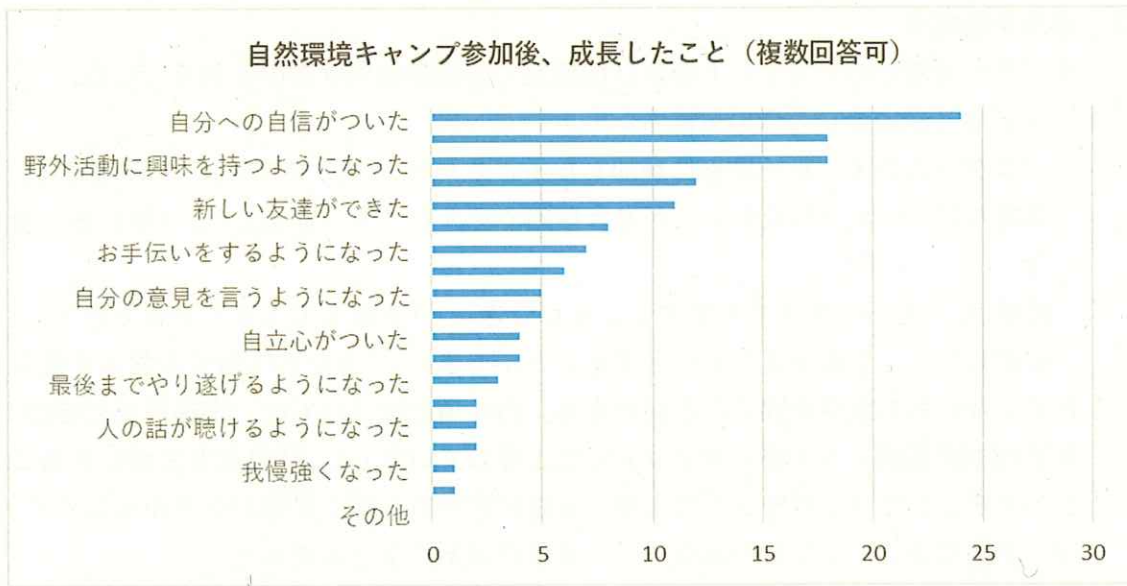
(2) 保護者アンケート

モニター実施に参加した子どもの保護者の方に、実施後のアンケートを行いました。（集計数：参加者保護者50名中43名）

結果は、41名の方が「当プログラムに参加してよかった」、39名の方が「当プログラム実施後、子どもに成長があった」、と回答されました。

「今後、こうしたプログラムに子どものどのような変化を期待しているか」について3つまで回答を求めたところ、「新しいことに挑戦していく」「自発的に行動できるようになる」「コミュニケーション能力が身につく」が上位となりました。





(3) 協議会での意見等

協議会では、協議会参加事業者等がモニター実施を見学すること、及び各回のモニター実施結果の報告を受けて、協議を行いました。その中で

- ・コロナ禍においても多くの申し込みがあり、「子どもたちが自らの力で生きる力を高める」ことのできるプログラムは、改めて社会的ニーズが高いことが実証された。
- ・参加した子どもたちが、自分（たち）の夢に向かって仲間と協力して行動し、また自ら行動し、自ら発見し、自ら学び、自らが持っている能力を発揮し、生きる力を伸ばしていく様子が見られ、効果の高いプログラムであることが改めて実証された。

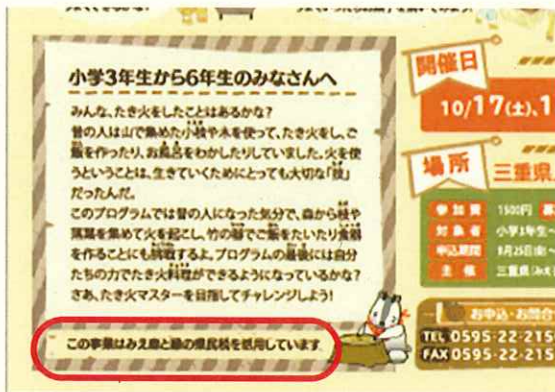
と結論づけられた一方、

- ・プログラムにかかる経費について、手間と時間、人にかかることから人件費をはじめとしたコストが多くかかり、結果として参加費が高額になってしまうため、事業化（事業者等が実施主体になること）のイメージを得ることができない。

という課題があがりました。

4. みえ森と緑の県民税の周知

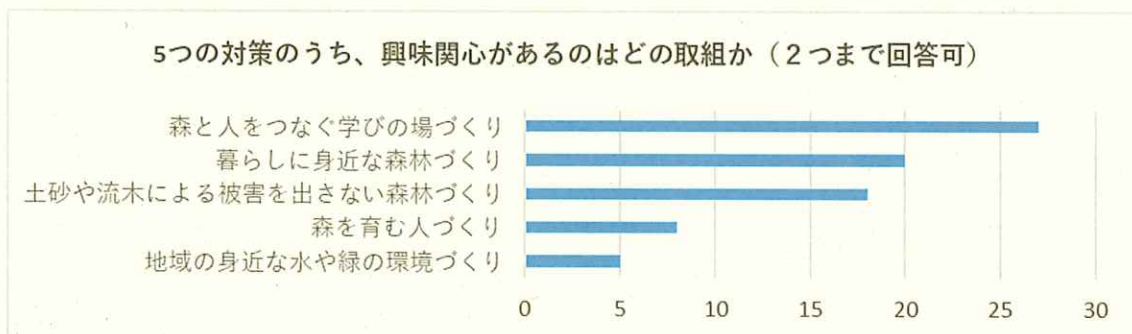
当事業がみえ森と緑の県民税を活用した取り組みであることを周知するため、モニター実施の参加者募集チラシにその旨記載するとともに、開催当日は、当税ののぼりを立ててPRしました。また、モニター実施後の保護者アンケートでは、当税に関する項目も設けました。



チラシ



のぼり



アンケート結果

5. 今後の取組

子どもの主体性を育むプログラムについては、社会的ニーズがあり、また当該プログラムはそのことに対して高い効果があることが実証されたことから、県が、令和2年10月に策定した「みえ森林教育ビジョン」の基本考え方「③自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」に資する取組として、引き続き、県内への展開を図っていきます。しかし、事業化には事業者と参加者の間における経費（参加費）に係る考え方の違いの解消や、森林・林業に関する職業意識の醸成を図るための効果が出せる取組とする必要があることから、今後は、県内へ展開するために必要な指導者の育成を行うとともに、課題解決に向けた検討を行ってまいります。

